

平成27年度
「大阪市子どもの読書活動推進連絡会」
実施報告書

日時 平成27年7月13日(月) 10時～12時

会場 大阪市立中央図書館 大会議室

平成27年度 大阪市子どもの読書活動推進連絡会

当日次第

日時 平成27年7月13日(月) 午前10時～12時

場所 大阪市立中央図書館 5階 大会議室

1. 開会あいさつ

2. 出席者紹介

3. 座長選出

4. 議 事

(1) 事務局報告

第2次大阪市子ども読書活動推進計画の策定後の状況

「子どものための施設ガイド・タッチ」についての報告 (生涯学習部)

学校図書館活性化事業～小学校及び中学校元気アップ地域本部事業についての報告～ (指導部)

大阪市立図書館子ども向け図書館サービスの推移

区の子どもの読書活動推進連絡会より (図書館)

(2) 特別報告 「学校図書館活用推進事業スタート！」

(3) 事例報告

【報告1】「読みたい本がそろったよ！」～学校図書館における整備と活性化について～

【報告2】「行きたい！読みたい！調べたい！読書大好き北鶴っ子」の実践

(4) 学識経験者、社会教育関係団体代表者より助言

(5) 質疑応答

5. その他

6. 閉会

目 次

【特別報告】 「学校図書館活用推進事業スタート！」	1
事例報告【報告1】「読みたい本がそろったよ！」～学校図書館における整備と活性化について～	3
事例報告【報告2】「行きたい！読みたい！調べたい！読書大好き北鶴っ子」の実践	5
意見交換	8
当日配布資料	
第2次大阪市子ども読書活動推進計画(概要)	13
第2次計画を推進するための重点的取組	14
子どものための施設ガイド タッチ	15
平成26年度学校図書館活性化事業報告	17
平成26年度大阪市立図書館子ども読書活動推進関係事業まとめ	25
平成26年度各区子どもの読書活動推進連絡会報告	27
特別報告・事例報告での配布資料	29
平成27年度大阪市子どもの読書活動推進連絡会出席予定者名簿	35
平成27年度大阪市子どもの読書活動推進連絡会事務局名簿	36

－ 特 別 報 告 －

【特別報告】学校図書館活用推進事業スタート！ （中央図書館地域サービス担当 学校図書館支援グループ 戸倉信昭）

今年度、新たに「学校図書館活用推進事業」を開始することになりました。今日この機会をお借りして、この事業の概要をご紹介します。

本事業は、大きく2つの柱で成り立っています。ひとつは、「学校図書館の図書整備」、もうひとつは「学校図書館補助員の配置」です。

まず、「学校図書館の図書整備」についてです。児童生徒の読書習慣を確立し言語力や論理的思考能力を育むため、また、自ら学び自ら考え、生涯にわたって学び続ける意欲を獲得するため、学校図書館の蔵書を整備し、読書環境の充実を図ってまいります。

学校図書館には、読書意欲の向上や読書習慣をつけさせる「読書センター機能」、各種の資料やメディアを提供し学習を支える「学習センター機能」、情報活用能力の育成を支える「情報センター機能」があり、これらの役割を果たすためには、蔵書の充実をはじめとする読書環境の整備が必要です。今回新たに、本市の学校図書館において必要であると考える蔵書冊数を、小学校で7,000冊、中学校で8,000冊として、それらの冊数を大阪市図書標準とし、この標準に達していない小中学校に対して、不足分を充足するため、3カ年計画で予算を配当し、図書整備を行います。

すでに該当校への最初の予算配付を済ませており、あわせて、図書選定の参考となるブックリストや、出版情報の入手方法など、有用情報を学校に提供しています。

つぎに、「学校図書館補助員の配置」です。学校図書館の開館回数を増やすとともに児童生徒の読書活動を推進する魅力ある学校図書館づくりを行うため、平成27年10月より、全小中学校に学校図書館補助員を配置します。

これまで、小学校では、学校図書館活性化事業で、地域みなさんに「学校図書館支援ボランテ

ィア」としてかかわっていただき、学校図書館の開館時間の延長や図書の整理、読み聞かせ等の取組、またボランティアのスキルアップのための研修や各校の取り組みを紹介しあう実践交流会などを行っています。中学校では、学校元気アップ地域本部事業で各校の実情に応じて、学校図書館の開館時間の延長や図書の整理等の取組を行っています。これらの取組により、児童生徒の読書意欲の醸成、読書習慣の確立に一定の成果が見られています。今後さらに、開館回数を増やしつつ、魅力ある学校図書館づくりを行い、児童生徒の読書活動の推進を図っていくためには、司書教諭をはじめとする教員を中心として行っている読書環境の整備や、ボランティアとのさらなる連携・協力に関する業務を補助することができる人材が必要です。そこで、学校を巡回して開館や学校図書館の環境整備を行う「学校図書館補助員」と、補助員の支援や学校、区役所との連絡調整等、補助員活動のコーディネートを行う「学校図書館補助員コーディネーター」を配置することとしました。

補助員は、10月からの配置に向けて、8月から採用手続きに入る予定です。学校図書館や公共図書館で勤務されたことがある方、教員を経験されたことがある方を始め、学校図書館を少しでも良くしていきたいという思いをお持ちの方に、広く呼び掛けてまいりたいと考えています。

また、補助員の業務をサポートしたり、配置校や区役所との連絡調整を行う「学校図書館補助員コーディネーター」を、この4月から24人採用しております。学校図書館の現状を把握し、本事業を円滑に推進するため、5月から6月にかけて、市立小中学校全校を訪問し、学校図書館活用状況や読書活動についての聞き取りと学校図書館の視察を行いました。現在、聞き取り内容をもとに、各学校の補助員配置計画案を作成し、調整を行っています。

さらに、コーディネーター業務の支援や、学校からの相談に対する指導助言にあたる「学校図書

館補助員チーフコーディネーター」を、この4月から3人採用しております。チーフコーディネーターは、校長を経験した教員OBで、その豊富な経験に基づくコーディネーターや学校へのアドバイスなど、事業の円滑な運営のための役割を担っています。

10月からの補助員配置により、学校図書館の開館、図書の入庫や廃棄など、学校図書館の円滑化を図るとともに、ボランティアのみなさんへの支援により、ボランティア活動の活性化が少しでも図れるようにと考えています。補助員が各校で担う具体的な業務については、配置までの間、コーディネーターを交えて各校で相談して決めていくこととしています。各校の学校図書館支援ボランティア、学校元気アップボランティアの皆さんにもご意見をいただきながら進めてまいりたいと思いますので、ご協力よろしくをお願いします。

ただ、一度に150人ほどの補助員を採用することとなり、補助員の経験もさまざまであることが予想されます。また、週1回の配置ということで、カバーできる業務の範囲もある程度限られたものになります。コーディネーターや市立図書館のサポートでカバーしながら、現場の課題に合わせて補助員が業務にあたるように、努めてまいります。また、補助員の配置により、学校図書館や読書活動をめぐる各校の状況がよりタイムリーに把握でき、市立図書館をはじめとするサポートが時宜を得て行えると思っております。各校での先進的な取り組み、活動の工夫についても今まで以上に共有し、各校で参考にさせていただけるのかなと思っております。補助員の配置をきっかけに、各校での読書活動が充実したものとなるよう、ご協力をお願いします。

最後に、本事業の事務局機能は中央図書館が担っております。本市図書館司書が蓄積してきた知識・経験を活かしつつ、指導部、生涯学習部、区役所と連携し、効果的な事業推進に努めてまいります。ご理解とご協力を引き続きお願いしたいと思います。

— 事例報告 —

【報告1】「読みたい本がそろったよ！」

～学校図書室における整備と活性化について～

(大阪市立梅南中学校

学校元気アップ地域コーディネーター

稲瀬 美幸)

※パワーポイントの映像を見せながらの報告

本日は、梅南中学校図書室における整備と活性化について発表させていただきます。梅南中学校は、平成25年4月に学校元気アップ地域本部事業が発足しました。学校元気アップ事業とは、学校のニーズに応じて学力向上および言語力育成の取組みの支援を2本柱に活動しています。地域の人材や社会資源を活かして生徒たちを対象に様々な講座を開催することも行っています。学習向上の取組みとしては、毎週土曜日の午前中「サタディワーク」と名付けて、学習支援ボランティアの大学生5名を中心に、自学自習方式の学習会を実施しています。「サタディワーク」開始当初は、参加生徒は2～3名、または、参加者がいない日もありました。しかし、今では定期テスト前には40名近い生徒が参加して学習するようになりました。

言語力育成の取組として、平成25年4月に学校長から図書室の整備を依頼されました。当時学校は生徒が落ち着きのない、いわゆる「荒れ」の状態、先生方は生徒の対応に追われる日々が続いていたために図書室の整備にまで手がまわっていないのが現状でした。

私は、当初の図書室の環境を目のあたりにして驚きました。いったい何から手をつけたら良いのか途方に迷いましたが、カーテンの洗濯から始めたのが思い出されます。学校元気アップ地域コーディネーターといっても学校の運営など、何も知らない私は、教職員の方々とのコミュニケーションの回り方に悩み、わからない日々が続く中、図書室の整備を少しずつ進めていきました。地域コーディネーターだけではできない本の廃棄作業は、担当の先生にお聞きし、協力を依頼したこともありました。そのような活動の中で、徐々に図書室

もきれいに整備されていくと、先生方からも声をかけていただけるようになり、少しずつコミュニケーションがとれるようになってきました。

次に、本の陳列と本棚の移動についてですが、平成25年11月に学校長のはからいで、教育委員会学力向上グループの司書の先生にご指導いただきました。ご指導いただいた点をまとめてみました。

1. 図書の分類法
2. 古い図書は表紙のカバーを外して、きれいに見せる。
3. おすすめの本は陳列のポイントとして、表紙を見せるようにする。
4. おすすめの本や話題の本などの、コーナーづくりをする。
5. 日本文学は冊数が多いので、作者を50音順に並べて、差込掲示板を作成し、探しやすくする。
6. 低い本棚を活用し、机の配置を変える。
7. 生徒の作品やポスターを掲示する。
8. 中学生に人気のある本を紹介する。
9. 図書室の見取り図の見本を紹介する。

この4.と6.については、映像を見ていただいたほうがより解りやすいと思います。(写真提示)

次の課題として、図書室の活性化についてお話させていただきます。平成26年1月頃に、元気アップから学校長に昼休みの図書室開放の提案をさせていただきました。本校では、週に3日(月、水、金)文化委員会の取組として、昼休みの図書室開放をしていました。そこで、残りの2日間(火、木)を元気アップの担当で開放をすることで、昼休みは毎日図書室を開放することができました。しかし、生徒への元気アップ事業に対する周知も低く、図書室に来る生徒は初め2～3人位で、生徒たちからは「図書室で何してるの?」と質問されたりもしました。生徒たちに図書室に来てもらうにはどうしたらいいかを考え、平成26年3月に、地域のボランティアの方に依頼をし、昼休み

の図書室開放時に「読み聞かせ」をしていただきました。本校では初めての取組でした。少し不安でしたが、参加した生徒達はしっかり聞いており、先生方も来ていただき、12名の参加となりました。(写真提示) 絵本の読み聞かせをしていただいている様子です。簡単な手品を披露していただきました。

その後も、図書室開放の生徒への周知が、あまり進まない中、平成26年4月に、教頭先生から職員会議に出席して元気アップの活動の報告をするようご提案いただきました。先生でもない私が、職員会議に出席するのは不思議に思われるかもしれませんが、教頭先生から「教職員に元気アップの取組みであるサタディワークや図書室開放の活動報告をする事でより理解が深まる」とお話をいただきました。職員会議では学校元気アップの取組みの状況資料を教職員に配布しています。昨年の夏休みには、先生がたの協力のもと、図書室の本のデータを2~3週間かけてパソコン入力していただきました。そして、元気アップとして、新しい本の選択と購入リストの作成を担当させていただくようになりました。本の選択をするにあたって、「子ども達が希望する本がある図書室に！」と考え、図書室のカウンターに「リクエストブックカード」を設置し、生徒たちの希望する本を募集しました。自学自習に役立つ本は、先生方に協力を依頼する事でコミュニケーションをとる機会ができました。元気アップでも、中学生に人気のある本を調べ、早々に購入手続きをしていただき、昨年度は新しい本471冊が学校図書室に納入されました。図書室では、新刊コーナーをつくり新しい本を見やすく工夫をしました。(写真提示)

その結果、図書室開放に来る生徒は増え始め、一部の生徒からは、「図書室に新しい本いっぱいある」、「映画の原作本や」、「この本、読んでみたい」「ほしい本あるからリクエストブックカードに書いてくわ！」など話しかけてくれるようになりました。本の貸出も増え始めたので、図書室の本の貸出と返却のルールを再確認するために、文化委員会担当の先生と連携をとり、『図書だより』を発

行することになりました。図書ボランティアの方も少人数ではありますが、毎週のように学校に来て、図書室開放の支援をしていただいています。昨年度からは、本校図書室は、昼休みの図書室開放だけではなく、先生方の授業でも活用していただいています。

いろいろな活動の写真をご覧ください。これは、サタディワーク(土曜学習会)の様子です。開始当初は多目的室を使用して開催していましたが、学習に役立つ本がある図書室に場所を変更したことで、学習効果は上がっていると感じます。これは、学校元気アップブロック連絡会の様子です。図書室整備の取組の成果をみていただける良い機会となりました。こちらは、学校元気アップ主催の「石鹼デコパージュ」の講座の様子です。絵柄のついたペーパーナプキンを石鹼に貼りつけた作品です。生徒・保護者・先生が参加し、とても楽しい取組になりました。また、こちらは図書部の活動の様子です。今年度から週に2日から3日に増え、充実した活動になってきました。

以上の図書室の整備と活性化は、学校長はじめ、教職員の皆さん、クラブの生徒達、文化委員会の生徒達、図書ボランティアの方々の協力なしではできませんでした。

最後に、本校図書室の課題として、「放課後の図書室開放の充実」「学校元気アップが図書部・文化委員会との連携していくこと」「図書バーコード化」「情報の多様化による本の選択の難しさ」等がありますが、学校元気アップ地域コーディネーターとして、「居心地のいい図書室」めざして今後も支援していきたいと思えます。

本日は、ありがとうございました。

【報告2】「行きたい！読みたい！調べたい！

読書大好き北鶴っ子」の実践

(北鶴橋小学校教諭 佐野 麻衣)

※パワーポイントの映像を見せながらの報告

さっそくですが、みなさんは本が好きでしょうか？ここに集まっておられる方々はおそらくそうだろうと思うのですが、私も本を読むことが昔から大好きでした。ただ、子どもたちの中には読書が苦手、本が嫌いという児童もたくさんいると思います。だからこそ私は無理やり読ませるのではなく、自分自身が一番の読書仲間になりたいと思って実践を続けてきました。

そんな子どもたちに「もっと図書室に行きたいな」と思ってもらえる図書室にしたいと思いました。私は図書開放の時間によく子どもたちに声をかけて回っています。「この本おもしろいよ」「これがすきなん？」「それだったらこれはどう？」と本を薦めたりしています。子どもたちからも「図書の先生」とだんだん認識してもらって、声をかけてくれるようになりました。

本校の図書室開放の様子です。(写真提示)本校は全児童112名の小さな学校ですが、特に雨の日はこのように20人から30人の児童が来てくれます。週に2回図書室を開放しています。ただ前年度までは、このような図書室では全くありませんでした。私が赴任したばかりの頃、課題がいくつもありました。1つめは図書室開放にくる児童が非常に少ないこと。開放しても1人～3人、とてもさみしい図書室でした。それは図書室に魅力がないことがあげられると思います。2つ目は図書室の本がバラバラに配架されていること。絵本や調べ学習、読み物の本、すべてが混在し、調べる学習の場としても、物語を読む場としても機能が低かったと思います。3つ目は児童一人当たりの読書量が少なかったこと。約4年間「読書ノート」という読んだ本を記録する取組をしていましたが、目標達成児童はほとんどおらず、低学年でも半分以下、高学年では2%ということでした。また、1年間の読書量が5冊以下という児童も多かったです。

そこで、子どもたちの読書への関心を高めるため、目標を立てました。①読書に親しめる環境を作る。②様々な方法で読書をアピールする。③学校全体で読書活動に取り組む。

そのために、昨年度は3つの取組を行いました。1つ目は魅力ある図書室づくり。2つ目は図書室以外における読書環境づくり。3つ目は様々な読書活動の推進です。その中で特に今日は、魅力ある図書室づくりを中心におはなしさせていただきます。

[I. 魅力ある図書室づくり]

まず最初に行ったのは、図書の整理です。本校の図書室は古い本が非常に多くて、昭和の時代の本が約2000冊から3000冊ありました。それらの本を廃棄し、残った本をジャンル別に分けました。調べ学習、読み物の本、絵本に分け、それをさらに生き物、植物、外国文学などに細かく分けました。すると、図書室の本の偏りがわかり、少なかった物語の本を中心に新しい本を購入しました。昨年度で約850冊の本を購入しています。

次に図書室のリフォームです。書架や机の配置を変えました。本校は全児童がとても少ないのですが、その割に机や椅子が大変多く、スペースにゆとりがなかったため、机と椅子の数を減らしました。そして、図書室を3つのコーナーに分けました。これがリフォーム後の本校の図書室の地図です。(資料参照)読みもののコーナー、調べ学習のコーナー、絵本広場に分けました。次に地図にもあるとおり、椅子ばかりでなく、もっとくつろいで本をよんでほしいという願いでソファを設置しました。そして、本校のリフォームの目玉となる絵本広場です。それまでは絵本は図書室をぐるっと囲むように窓下書架に配架されていたのですが、絵本広場に一つにまとめました。ふかふかのマットを敷き、子どもたちの目を引く看板を作り、そしてかわいい壁紙を貼りました。子どもたちもたいへん絵本広場を気に入ってくれていて、休み時間になるとたくさん児童が来て来ています。当初

は低学年が中心と思っていたのですが、高学年の児童もよく来て、絵本の読み聞かせをしてくれたり、物語のコーナーから本を持ってきて読んだりしています。絵本広場の配架は作者の名前順ですが、なかなか子どもたちは絵本を元通りに返せないで、本と棚に同色のシールを貼って、低学年児童も難なく本が返せるようにしました。

次はいろいろな配架と展示の工夫です。(写真提示) 図書をジャンル別に分けて並べました。読み物のなかでも、ホラー・ミステリー、ファンタジーの棚などに分け、さらにその中でも「お姫様と王様の本」「魔女や魔法使いの本」というように分けています。イラストのついた目を引く看板を作ったり、ブックエンドで本をそろえたりしています。返却本が元通りにならぶように本と書架に同じようなシールを貼り、上から1～と段番号を書き入れて工夫しました。本が多いと詰めて置いてしまいがちですが、いい本を選定したうえで、ゆとりを持って書架に本を置いています。そしてできる限り図書の表紙を見せて展示することで、子どもたちが手にとりやすいレイアウトにしています。また、小道具による演出もしています。世界の暮らしのコーナーには、コアラの人形や地球儀を置いたりしています。図書委員会の児童と一緒に季節の本コーナーを作って、春の本を集め、春らしい掲示物を飾りました。さらにかわいいキリンの本棚を購入して、おすすめの本コーナーを作りました。

このようないろいろな取組みをしても、まだまだ図書室に足を運びづらい子どもたちがいます。その子たちにもっと来てもらえそうな工夫として、だれでも手に取りやすい仕掛け絵本のコーナーを作りました。スノーマンのパペット絵本であったり、ライトを照らすと絵が浮かび上がる「探検ライト」の絵本、ポップアップ絵本などを購入しました。

また、図書室には関係ないのですけれど、身長計を壁に貼ってみたら、子どもたちが図書室

に測りによくやって来ます。

POPによるおすすめの本紹介もしています。本屋さんに行くと、「この本はこういうところが面白い」という紹介カードがあるのですが、そんなPOPを図書室でも作っています。「しろくまのパンツ」のPOPは、パンツ型に切っています。このような展示をすると子どもたちはより本に惹かれて、よく手にとってくれます。今後はPOPをつけて、先生たちのおすすめの本コーナーを作ったり、委員会や学級での取組として広げていきたいと思っています。

〔Ⅱ. 図書室以外における読書環境づくり〕

図書室だけでなく、学級やさまざまな場所に読書環境をつくりました。1つ目は学級文庫の充実、学校文庫用書架の購入です。それまで本はロッカーの中に入っていたのですが、学級文庫用の書架を買いました。また、図書室と学級文庫用の本が混じっていたので、完全に分け、各学級文庫用予算を13万円取り、本を購入してもらいました。これによって、朝の学習の時間等でも子どもたちはたくさん本を読んでいます。

2つ目は絵本展の実施です。中央図書館にお世話になり、絵本展を開きました。図書室ではない、多目的室に約300冊のさまざまな絵本を並べ、ソファも置きました。高学年向きの本も今回お借りしたので、高学年の児童もたくさん足を運んでくれていました。

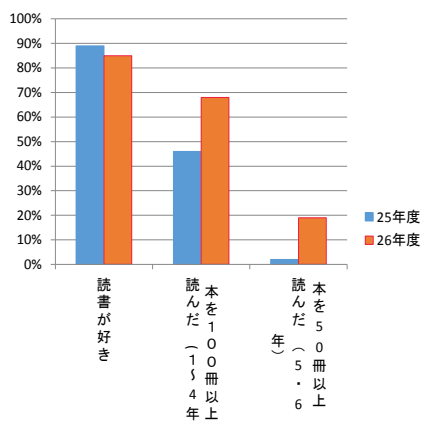
〔Ⅲ. 様々な読書活動の推進〕

私はよく朝会で、「こんな本入ったから、また見に来てね」とか「読書ノート、何冊までいきましたか」とかよく声をかけています。ノートへの取組は4年ほど行っています。今年は新聞社の読書ノートの抽選に落選したので、本校独自のノートをつくりました。「1～4年生は100冊、5、6年生は50冊、1年間に読もう」という目標で読んだ本を記録するためのノートです。これと並行し、読書グラフというのを今年から始めています。これには賛否両論あるかもしれませんが、子どもたちが読書ノートに記録するたびにシールを貼って、可視化するグラフです。

決して競争ではなく、シールが少なくても気にしないと子どもたちに伝えていますが、努力した結果が目に見えてわかるので、楽しんで読書に取り組んでくれています。ただ、読書量の少ない児童をどうフォローしていくかが課題だと思っています。また、読書タイム、わくわくタイムというのを毎週水曜日の朝の時間に実施しています。一人で読書をすることもあり、地域の読書ボランティアの方々に読み聞かせをしていただくこともあります。私たち教員も読み聞かせをよくしております。

最後に、このような取組による成果について報告します。図書室開放や絵本展に来る児童は昨年度より、ずっと増えたなあと感じています。読書ノート達成者数も増加しました。教職員の意識の変化もあり、他の先生方の協力も広がり、教室で児童に呼びかけをしてくれたり、いっしょに図書室に足を運んでくれたりしています。

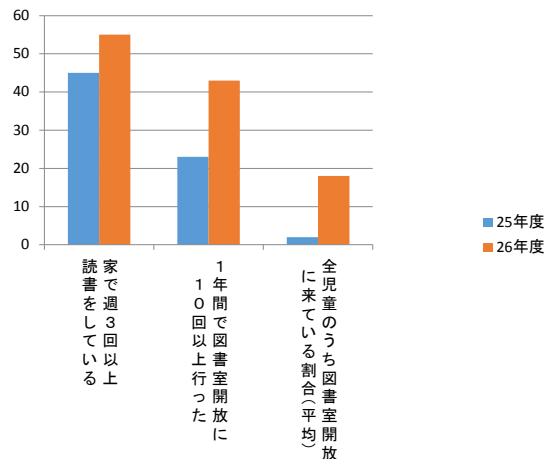
達成の成果をグラフにまとめてみました。青が25年度の取組前のグラフです。赤が取組後のグラフです。なんと「読書が好き」という数値はちょっと落ちてしまっていて、少しショックでした。(笑)ただ、他の値については著しく向上しています。本を100冊以上読んだという読書ノート達成率ですが、前年の達成者は45%でしたが、26年度は68%まで上がりました。5.6年生は、取組前では2%しかいませんでしたが、昨年度は18%まで上がっています。



「家で週3回以上読書をしていますか？」とい

うアンケートは、25年度は45%、26年度は55%、これは自己申告なので正確かかどうかわかりませんが。(笑)次は1年間で図書室開放に10回以上行ったという数値です。全児童のうち何割くらいが来てくれているのかなあと調べたところ、25年度は全児童のうち3%でしたが、26年度は約18%の子どもたちが来ています。

しかし、まだまだ本校にも課題があります。



それは、高学年にどうアプローチをしていくのかということ。低学年の児童は、このまま順調にいけば、高学年になっても本を読む素地も環境も整っていると思うのですが、いままでの積上げがない高学年に対し、考えていかなければいけないと思っています。そして地域のボランティアのみなさんと、もっともっと連携を強化していきたいです。さらに、図書室を学習の場としてもさらに機能充実していきたいので、図書室を活かした授業づくりをもっと提案していきたいと思っています。そして今年度は9月に読書月間を設定しています。また、昼の放送時間最後5分で私の方で読み聞かせをしたいなと思っています。その読み聞かせをした本は、また図書室にコーナーを設けて「この本の続きは図書室で」というような宣伝をして行こうと思っています。

どうもご清聴ありがとうございました。

— 意見交換 —

【学識経験者より】

久 隆浩（近畿大学教授）

ご報告、どうもありがとうございます。北鶴橋小学校の佐野先生のお話に共感します。というのは、小学生は10年たつと大学生になるので、「どれだけ本を読まないのか」ということを常に悩んでいるところです。さきほども佐野先生からの報告にもありましたように、むりやり読ませるといやるになるだけですので、どのようにすれば気持ちよく本に接してもらえるか工夫をしているところでは。

今日の2つの報告は、共通するところがいくつかあると思います。私は自分自身も建築設計などを研究しており、建築デザインのアドバイスをすることもあり、デザインはすごく重要だと思っています。学校の図書館に視察に行き、「これでほんまに魅力的？」と思うところもあります。たとえば、書架が真ん中にドンとすわっていて、一見倉庫のようで、明るくないし、楽しくない。これでは子どもたちは足を運ばないなと思います。おしゃべりじゃない店には足が向かないのと同じだろうと思います。ですから、見た目から入ることも大事だなと、今日改めて確認させてもらいました。やはりオープンで、すっきりして、ゆったり感じさせる環境がないと図書館に行かないかなあと思いました。

他にも共通しているところは、本を整理して減らしたということです。「入れ替えちゃった」、これ、非常に重要です。今、断捨離が流行ってますが、家をすっきり見せるためには、なんでもかんでもごたごたと置かないというのが非常に大切です。図書館でも同様です。質を吟味し、いいものをしっかりとゆったりと置くのが重要です。ただ量も必要なところもあり、それを学校図書館だけでまかなうのではなく、地域には地域図書館もあるし、この中央図書館もあります。そちらにいかん足を運ばせるかということと、学校図書館はある意味入り口であり、さらに量をしっかりと持

っている図書館に足を運ばせる連携も必要かと思っています。

さらに北鶴橋小学校の工夫で面白いなと思ったのが、身長計を置いたということですね。本を読ませるために図書館に来るのではなく、本を読まない理由で足を運んでもらうというのもひとつの手がかりかなあと思います。今はブックカフェなども流行っています。お茶を飲んで、そこに本もあるというのがブックカフェであるように、本を読む用事ではないけれど、図書館に来させる工夫を学校でも考えていただいたらいいのではと思います。まず、来させる。何の動機でもいいから来させる。その工夫が大切かと思っています。

私が本を読んでもらいたい理由は何かといえば、発見する喜びを感じてもらいたいからです。わからないことを本で調べたら、「ああ、なるほどそういうことだったのか」とわかる。それもそれほど手間をかけずに発見する。そのためには、事典とか参考図書の充実も非常に重要だと思います。うちの学生などもWikipediaですぐ調べてしまうのですが、そうではなく書籍を読めばいろいろなものを発見できるというのを実感してほしいと思っています。私の講座でも、学生に調べる課題を与え、図書館の活用も勧め、方法がわからない学生には図書館の司書に聞くことを勧めています。教科・科目の中でどうやって図書館を使うのかということ言えば、参考図書にもっともっと注目をすることが必要です。

それから、最近、図書がらみで市民活動の中でも面白い試みがあるので、うまく連携などでできればと思って、ふたつ話題提供をさせていただきます。ひとつは「まちライブラリー」です。ご存じの方、ちょっと手をあげていただけますか？ まだ半分未満ですね。それと「直感読みブックマーカー」というのがあります。ご存じの方？ これはほとんど手が上がりませんね。

今、森ノ宮のキューズモールの中にも「まちライブラリー」ができました。商業施設内にできた

ということは、これで集客ができると営業主体が読んだのでしょうか。関西では難波の大阪府立大学のサテライトキャンパスの中にもありますが、どんなしくみかという、書架だけ用意して、本はみんな持ち寄って、寄贈で増やしていくというものです。この発想が非常に面白い。今回、学校図書館の蔵書をどのように増やしたらいいかという話がありましたが、このように、書架だけ用意して地域の方が寄贈することによって、図書館を充実させていくという発想も参考になるかと思いました。「まちライブラリー」は大阪が発祥で、現在全国に展開していますが、近くにできたら、ぜひ立ち寄ってみられて、どんな工夫をされているのか見られたらいいかと思います。

最後に「直感読みブックマーカー」は、私の友人の陸奥賢(むつさとし)さんが始めたのですが、とてもユニークです。ホームページでも方法を見ることができますが、まず、本を3冊ほど直感で持ってきます。それから、ブックマーカー(しおり)を渡しておきます。その3冊の本をみんなで交換し合って、自分が直感で「読みたい」という本を選んで、直感で頁を開きます。全部直感です。その1頁読んで、気に入った文章を直感で抜き出します。ただそれだけです。全部は読みません。そして、みんなブックマークを交換し合って、「なぜあなたはこの文章を抜き出したのか？」というようなことを情報交換する。そこからその人の考え方や発想が見えてきます。コミュニケーションの道具として、本を使っちゃおうというノリですね。すると、たった1冊の1頁を読むだけで、なにか心が動く感動が各々にも感じてもらえる。それで、1頁だけじゃなくて「全部読んでみよう」と思ってくればという発想ですね。すべての本をまじめにしっかり読むというところに、実は本を読まない人のハードルがあると思うので、そのハードルを下げられるためにも「直感読みブックマーカー」がひとつのやり方として、使える分は使っただけたらと思います。

村岡益子(全国学校図書館協議会学校図書館スーパーバイザー)

発表者のみなさん、お疲れさまでした。私は久先生と違った視点でお話しできたらと思います。

大阪市立小学校は、297校ありますが、「はぐくみネット」が全校に設置されたこともあり「学校図書館活性化事業」がずいぶん充実してきたかと思っています。私も小学校の現場におりました時にはぐくみネットや生涯学習推進に関わっておりましたので、そのように感じております。

当時、卒業式が来るたびに、「さて、どのような中学校の図書館がこの子たちを迎えてくれるのかなあ」という不安がありました。そのような中、中学校のPTA会長さんに誘われ、中学校の図書館を見学に行く機会がありました。さきほど発表があった梅南中学校の図書館の以前の状態とあまり変わらない状態でした。梅南中学校の元気アップのみなさんは、すごく頑張られたのだなあと思って、心から拍手を送りながら、発表を聞かせていただきました。

はぐくみネットが小学校で実施されてしばらく後、中学校127校で「学校元気アップ地域本部事業」が始まり、全校で実施されています。このプログラムのコンセプトは大きく3つありますが、学校支援ボランティアのみなさんに支援していただきたいこととして2点あげられています。ひとつは、生徒の自主学習への支援です。そして、もうひとつは、学校図書館への支援です。公共図書館の司書との連携も示されました。それを受けて、今回の梅南中学校の成果発表があると思います。

中学校における学校図書館活用には、学校によりかなり差があるように思われます。梅南中学校のように、校長先生がその重要性に気づいてくださり、元気アップのみなさんと一緒に学校図書館をなんとかしたいという思いをもってくださっているということは、とてもうれしいことです。

先生方が、学校図書館の資料を授業でどんどん活用してくださることによって、子どもたちの学びが深まり、その学校の教育内容の充実につながっていくと思われます。北鶴橋小学校の先生が、

課題として学校図書館を活かした授業づくりを挙げておられるのは当然のことなのです。しかし、いきなり先生に「授業で学校図書館を使ってください」と言ってもそうはいきません。まず、学習センター・情報センター・読書センターとして学校図書館が整備されていなければなりません。更に文科省は、ただ本を読む場所・勉強する場所ではなく、居場所づくりの機能も求めています。久先生がおっしゃったようなちょっとした工夫をして、いろいろ楽しい空間、教室ではなく何かほっとする空間は、小学校よりも現在は中学校にこそ必要ですね。保健室でもない、カウンセリングルームでもない、心の居場所としての空間を学校図書館は求められています。

今年度から「学校図書館活用推進事業」が始まりました。学校図書館に資料を準備しても、人がいなかったら開けられない事情の学校もあると聞いています。特に中学校は、学校によって差があるようです。生徒指導のこともあると思いますが、児童・生徒の学びの支援において、学校図書館には専任の人が必要です。大阪市の小学校・中学校の学校図書館の現状に危機感を持ち、やっと予算を用意していただいて、蔵書の充実と人の配置が始まったところです。知人から「大阪市はたいへんやろ」と言われます。つまり、一人二人で縄跳びをしたら簡単ですが、大阪市は長い長い大縄で、小学校 297 校、中学校 127 校がいっしょに跳んでいかなければならないのです。その組織づくりには、大変な工夫が必要だったと思います。ちまたでは、「1週間に1度の来校で何するの?」「なにしてもらおう?」という声も聞かれますが、1週間にたった1日でも学校図書館に人が居てくださるということを前向きにとらえていただいて、ボランティアのみなさんも先生方もなんとかうまく協力して、この事業の成果が子どもたちに届くようにしなければと思います。そして、さらに充実した事業になるよう、今日ここにお集まりのみなさんには、これからもがんばっていただきたいと思います。

梅南中学校の発表で1点だけ気になることがあ

りました。それは、元気アップで生徒のニーズを聞いて選書し、400冊の図書を購入したとの報告です。たぶん、選書の手伝いをされたということだと思います。そのように理解したいと思います。

学校図書館の経営(選書など)は教員の仕事で、選書は学校の教育課程に関わります。「学校図書館図書標準」という基準があり、さらに、「学校図書館メディア基準」があります。梅南中学校でも分類の勉強をされたと言っておられましたが、「蔵書の配分比率」というのが決められていて、蔵書の全体を100%として、たとえば、文学は小学校で全体の26%、中学校で25%となっています。授業で学校図書館を使ってもらおうとすれば、蔵書構成を考えていろいろな分類の本が学校図書館に並んでいないと、それは難しいです。もし、授業を進めるのに小学校や中学校の図書館の本だけでは足りない場合は、どんどん公共図書館の司書の方に相談されたいと思います。

それから、この会場には、各区でボランティアをなさっていて、小学校でも活動されている方が多くおられると思います。ぜひ、校区の子どもたちが進学する中学校もテリトリーに加えてください。というのは、私に関わらせていただいている中学校には、2校の小学校の子どもたちが進学してきます。読み聞かせは中学生にも必要ということで、中学校の先生は、年に1回、公共図書館の方や読み聞かせグループの方を招いておられました。しかし、朝の読書がスタートしたこともあり、読み聞かせやブックトークや本の紹介が月1回程度でもあればと考えられ、元気アップのボランティアで読み聞かせのチームをつくられました。ボランティアの皆さんは、1年間の勉強会を経て、主に朝の読書の時間に教室に入っておられます。そこに校区の小学校のボランティアの方も参加されています。小さな連携が始まっています。

私は、教員になる学生に学校図書館のことを教えています。毎年3回生または4回生の学生が教育実習にいきます。今年の6月に大阪市の中学校で教育実習をした学生が「自分が中学校で過ごした頃と比べ、学校図書館がすごく変わっていて感

動した」と報告してくれました。こんなに嬉しいことはありません。公共図書館の支援もあると思いますが、やっぱりみなさんの支援が少しずつ広がっているからだと思います。

「学校図書館活性化事業」「学校図書館活用推進事業」が今後さらに充実することを期待しています。

【大阪市 PTA 協議会より】

辻奈津江（大阪市 PTA 協議会研修委員長）

子どもを持つ親としての感想ですが、現在は子どもが静かに本を読むという環境をつくるのがなかなか難しい状況です。小さいころから本に親しむことができれば、言語力が身についていきます。友だちや先生に言葉で自分の思いを伝えるには、語彙力が重要かと思います。環境づくりが大切だと思いました。今後に期待いたします。

平尾政信

（大阪市 PTA 協議会広報情報推進委員長）

自分の子ども時代とは違い、学校図書館も変わってきたと感じました。私も小学校の図書館はよく覚えているのですが、中学校の図書館の印象があまりありません。梅南中学校の報告では、学校長、教職員、図書委員……みんなで取り組んだ成果が現れているかと思います。北鶴橋小学校では小さな工夫やできるところから行っていくことで変わることを実感しました。

【大阪市生涯学習推進員協議会より】

吉田典子

（大阪市生涯学習推進員協議会運営委員長）

本日の報告で学校図書館の印象が変わりました。地元に戻って、ぜひ紹介したいと思います。座席を減らすことや、本の見せ方などで工夫をして、私も子どもならぜひ入ってみたい図書室だと思いました。そして、子どもの居場所になるというのはこの時代に大事なことだと感じます。

鳥居光子

（大阪市生涯学習推進員協議会副運営委員長）

北鶴橋小学校は素晴らしい取り組みをしていると思いました。私も学校で読み聞かせボランティアをしています。読み聞かせから図書館開放にと、ボランティアの活動が広がっています。高学年になるとなかなか来館してもらえなくて、図書館開放についてどのように進めていくか、先生とも相談しています。今日の報告を聞いて、私たちももっとがんばろうと元気ができました。

中学校図書館の開放も、元気アップコーディネーターとも連携し、広げていければと思っています。子どもたちが行きたくなるような図書館が実現しているのが素晴らしいです。

【意見交換】

座長（大久保）

ありがとうございました。

では、各区の連絡会代表の皆さまから、これまでの報告に対して、ご意見、ご質問をいただければと思います。発言される方は恐れ入りますが挙手をし、ご発言の前にお名前をおっしゃっていただきますよう、お願いいたします。

中央区連絡会代表（釣島）

事例報告がすばらしかったです。

久先生へおたずねします。「直感読みブックマーク」は、学生も行っているのでしょうか？読書の基礎を積んだ人が行っているのか、それともあまり本が好きでない人などが行っているのでしょうか？

久 隆浩

学生も行っています。本が好きでない学生も多いのが実情です。200～300 ページの本を読むのは負担でも、ちょっと見て、気になる文があれば、なぜ気になったか、なぜ他の人が感動をしたかを考えてみることによって、本を読みたくなるようにとの工夫です。ハードルを下げて、1ページくらいなら読んでみようということから発想してい

ます。

西区連絡会代表（三浦）

読み聞かせは幼稚園・保育園等では多くても小中学校になると少なくなります。区の子どもの読書活動推進連絡会でも、幼稚園・保育所関係者の参加が多くて、小中学校の関係者は少ないです。小中学校での活動も重要だと思うし、中学校での読み聞かせも行いたいのですが、図書館を通して学校からの依頼も少ないのです。今年にやっと3校から希望がありました。直接、ボランティアから学校に、読み聞かせをさせてほしいと声掛けができるのでしょうか？ なかなか難しいと感じています。

村岡益子

そう思われるのは、もったもだと思えます。中学校の先生方は、昼休みも放課後も生徒指導や部活の指導などでお忙しいのが現状です。まず、先生方に学校図書館の開館が必要であると感じていただくことです。元気アップ事業により、学校図書館に対する先生方の意識が少しずつ変わってきたと感じます。校長先生も、学校図書館補助員の配置によって、今まで以上に学校図書館の活用について考えておられると思います。積極的に相談にいらっしゃい。

座長（大久保）

図書館も区によっては各区の連絡会に中学校の先生に参加していただいています。これからも働きかけをしていきたいと思えます。

ほかに、ご質問やご意見はありませんか？

定刻をすぎましたので、以上をもちまして、「平成 27 年度大阪市子どもの読書活動推進連絡会」の議事はすべて終了しました。みなさま、議事進行にご協力いただき、ありがとうございました。

第 2 次大阪市子ども読書活動推進計画(概要)

取組み・成果

乳幼児期

- ・子育て支援施設でのブックスタート事業実施により、施設利用者が増加
- ・子育て支援のネットワークと図書館の連携が拡充し、子育て支援施設での読み聞かせなど読書活動が拡大

学 校

- ・全小・中学校で「朝の読書」などの一斉読書の取組みを実施
- ・全小学校で「学校図書館活性化事業」を実施し、開館回数が増加
- ・中学校で「学校元気アップ地域本部事業」により、実施校では「全く読まない」生徒が減少(平成 25 年度全校実施予定)
- ・学校図書館で活動するボランティアが増え、学校図書館の活性化が進む
- ・12 学級以上の学校に司書教諭を配置し、スキルアップ講習を実施

図 書 館

- ・調べ学習などに使用する図書の団体貸出等、学校と市立図書館の連携が拡充
- ・児童書の充実、子ども向け事業の拡大等により、児童書の貸出冊数が増大
- ・読書離れが進む 13～19 歳に向けホームページ上に「ティーンズのページ」新設

学校、家庭、地域、図書館の 連携・協力

- ・ボランティアグループの代表、区役所や子育て支援施設職員、教員等が参加し、子どもの読書活動について情報交換を行い、連携・協力が進む

今後の取組み

- ・「ブックスタート事業」について、各区の実情を踏まえた実施方法を検討する
- ・子育て支援施設での読み聞かせ等を継続し、保護者と子どもが身近に本に親しめる場を提供する
- ・学校図書館を計画的に活用して、読解力や記述力を培い、言語力の向上を目指す
- ・学校と市立図書館の連携を拡充し、学校の ICT 環境に合わせた図書館サービスの活用を検討する
- ・市立図書館は、さまざまなニーズに対応し、子どもが読書を楽しめる環境づくりに努める
- ・「図書館活用の手引き」に「ティーンズのページ」や電子書籍等新しいサービスを紹介し、中・高等学校での市立図書館サービスの活用を図る
- ・市立図書館でボランティア講座を継続実施し、様々な場で活動するボランティアの交流を拡大
- ・各区、大阪市全体「子どもの読書活動推進連絡会」を開催し、様々な立場で子どもの読書活動推進にかかわる施設・人をつなぎ、連携・協力の拡充を目指す

課 題

- ・ブックスタート事業参加者数の伸び悩み
- ・「読書が好き」と答える児童・生徒の数が少しずつ増えてきたが、全国との差が大きい
- ・昼休みや放課後、休みの日に図書館を利用する頻度が全国平均に比べ低い
- ・7～12 歳の市立図書館の利用は増加しているが、13～19 歳では減少しており、読書習慣の定着に課題
- ・ボランティアの継続や人数確保に課題がある学校がある

指 標

- ・子育て支援施設での読み聞かせ 97 か所⇒105 か所
- ・学校図書館(小学校)の週当たり開館回数の増加 4.2 回⇒5 回
- ・「読書が好き」な児童・生徒の割合⇒全国平均に
- ・昼休みや放課後、学校が休みの日に学校図書館・図書室や地域の図書館を利用しない児童・生徒の割合⇒全国平均に
- ・市立図書館から小・中学校への団体貸出
52,424 冊⇒60,000 冊以上
- ・市立図書館における 13 歳～19 歳の年度利用者数
18,962 人⇒22,000 人
- ・市立図書館における児童書の貸出冊数
2,703,476 冊⇒2,800,000 冊
- ・「ティーンズのページ」アクセス数の増加
6,346 件⇒10,000 件以上
- ・読書支援活動ボランティア数 2,433 人⇒2,500 人以上
- ・「子どもの読書活動推進連絡会」の開催
⇒大阪市、各区年 1 回以上開催

第2次計画を推進するための重点的取組(2次計画P34～36)

取組み名	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)	29年度 (2017) 目標
市立図書館における 児童書の貸出冊数 (継続・拡充)	2,641,490冊	2,563,417冊	2811398冊	2,800,000冊
市立図書館における 13～19歳の年度利用者数 (継続・拡充)	18,319人	21,425人	20,425人	22,000人
学校図書館(小学校)の 週当たり開館回数の増加 (継続・拡充)	3.8回	4.5回	4.8回	5回以上
「読書が好き」な児童・生徒の割合 (「全国学力・学習状況調査」より)	小学校 全国平均72.6% 大阪市66.6% 中学校 全国平均66.6% 大阪市56.8%	小学校 全国平均72.1% 大阪市65.4% 中学校 全国平均70.1% 大阪市57.4%	小学校 全国平均73.0% 大阪市68.1% 中学校 全国平均69.4% 大阪市57.7%	全国平均に
昼休みや放課後、学校が休みの日 に、学校図書館・図書室や地域図書 館を利用しない児童・生徒の割合 (「全国学力・学習状況調査」より)	小学校 全国平均31.4% 大阪市48.1% 中学校 全国平均57.9% 大阪市72.8%	小学校 全国平均29.4% 大阪市47.3% 中学校 全国平均58.0% 大阪市73.0%	小学校 全国平均29.2% 大阪市45.4% 中学校 全国平均58.2% 大阪市72.9%	全国平均に
子育て支援施設での 読み聞かせ (継続・拡充)	98か所	103か所	109か所	105か所
市立図書館から小・中学校への 団体貸出 (継続・拡充)	67,413冊	82,010冊	93,038冊	60,000冊以上
「ティーンズのページ」 アクセス数の増加 (継続・拡充)	5,964件	7,337件	10,599件	10,000件以上
読書支援ボランティア数 (継続・拡充)	2,533人	2,521人	2,410人	2,500人以上
「子どもの読書活動推進連絡会」の 開催 (継続)	大阪市、各区年1回以上開催			

2015 平成27年度 夏 touch タッチ

子どものためのイベント+施設ガイド

大阪府 大阪市

7月10日～8月31日

タッチの情報の探し方

ジャンルで探す

お問合せ申込み先一覧

イベント情報は内容によってジャンルごとにわかれて動いています。ジャンル別目次をつかってね。

16、17ページのお問い合わせ一覧で、各施設・部署ごとの「掲載イベント番号」をみてね。

ジャンル別目次

自然・科学にタッチ	1
その他イベント	11
くらし・環境にタッチ	6
キッズプラザ大阪のイベント	12
歴史・文化にタッチ	7
図書館のイベント	13
絵画・工作・料理にタッチ	8
お問い合わせ・申込み先一覧	16・17
映画・舞台・コンサートにタッチ	10
施設一覧	18

自然・科学にタッチ

1 「ふしぎ ワクワク。虫を食べる植物展」

- ① 咲くやこの花館 (問合せ・申込み) P.16・17参照
- さまざまな種類の食虫植物の展示・虫を捕まえるメカニズムの解説 実演をメインに、食虫植物の仕組みを体験できる実験ブースやおもしろクイズ・クイズなど！ 自由研究のネタを探しに来てみては？
 - 9月からはバージョンをリニューアルして「あぶないヤツら！? 虫を食べる植物展」を開催(9/23まで ※9/13を除く)
 - 7/4(土)～8/30(日)
 - 無料(別途入館料500円)
 - 市内在住の65歳以上、障がい者手帳をお持ちの方(要証明証提示)、中学生以下(無料)
 - 7/4(土)～8/30(日)
 - 無料(一部有料あり)
 - 内容により異なります

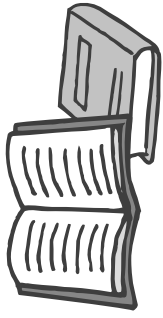
2 エコプラザ夏休みの宿題応援プロジェクト

- ② おおさかATCグリーンエコプラザ(問合せ・申込み) P.16・17参照
- 毎年夏休みの自由研究についてにしろ・かなりって悩みますよね。エコプラザでは、お話し・ゲーム・工作などを通じて、環境問題について楽しく学べるいろいろな企画をご用意しています！夏休みの自由研究にヒントを！
 - 7/18(土)～8/30(日)の毎週土・日曜 開催時間は企画内容により異なります。
 - おおさかATCグリーンエコプラザ
 - 直接会場へ ※一部の企画は予約制
 - 無料(一部有料あり) ※どなたでも
 - 内容により異なります

内容 日時 会場 料金 定員 申込 申込 申込 交通 対象

メール ホームページ インターネット(https://www.manabi.city.osaka.lg.jp/)(いちようネット)

すべての子どもたちが 読書に親しめる 環境整備を図ります



大阪府では、「第2次大阪府子ども読書活動推進計画」にもとづいて、すべての子どもたちが読書に親しめる環境整備を進め、さまざまな活動を展開しています。



イベント開催

図書館では、絵本の読み聞かせや紙芝居、人形劇など、子どもたちが本や物語に親しむきっかけづくりとなるイベントを随時開催しています。

調べもの



図書館へ行けば、学校の課題や日頃のちよつとした疑問に役立つ調べ物ができます。図書館のコンピュータ「オムリス」や自宅のインターネットからは、中央図書館、23の地域図書館の本を調べるができます。

探している本が見つからなかったり、どの本で調べればいいのかわからないときは気軽に図書館の職員に聞いてください。

こどものほんだな2015

こどもの本のおすすりめリスト

各館にて無料で配布中です。

74 「つくって!ならそらトバードコール」

鳥の音が聞こえる?不思議な箱、バードコール。世界にひとつしかない、じぶんだけのオリジナルをつくっちゃおう! ちまぐりせは鳥たちとおともだちになれるかも?

- 8/5(水)・9(日)・19(水)
- 11:00～11:30、13:30～14:00、14:40～15:10
- 5階 わいれいスタジオ前
- 4歳以上の子ども(就学前の子どもは保護者同伴)
- 各回10名
- 5階ホール前にて9:30から一日の参加券を販売

75 絵本特展「あいでよ! えほんのなかのどうぶつえん」

どうぶつのはなや図鑑が大集合! ソウ、キリン、ライオン...どなたもどっぴり出さえるかな?

- 7/1(水)～8/30(日)
- 9:30～17:00(土・日・祝・8月は19:00まで)
- 4階 ライブラリー
- 無料(入館料別)
- 直接会場へ



76 「あんなくんは! すみか」

いきものたちは「すみか」をつくる。身近な素材を使って工夫をこらしてきみの「すみか」をつくってみよう!

- 7/11(土)～10/12(月・祝)
- ※火曜日は休室(8月は除く) ※7/18(土)～8/30(日)の期間中は日祝・夏休み中は毎日実施
- ※特別プログラム実施日は除く
- 【土日祝・夏休み版】11:00～12:00、12:00～13:00、14:00～15:00、16:00～(各回50分間)
- 【平日版】10:30～15:50(最終受付15:10)
- 3階 創作工房
- どなたでも
- 無料(入館料別)
- 【土日祝・夏休み版】各回15名、【平日版】各回20名
- 【土日祝・夏休み版】先着順で受付
- 【平日版】40分ごとに先着順で受付(混雑時は入場制限あり)

◆キッズプラザ大阪 臨時閉館のお知らせ

キッズプラザ大阪では、8/10-17は月曜日で通常は休館日ですが、臨時閉館します。ぜひ、皆様おそろいでキッズプラザ大阪へお越しください。

◆キッズプラザ大阪 夏季閉館時間の延長について

キッズプラザ大阪では、夏季8月1日～8月30日の間は、毎日19時まで閉館します。※8/3(月)・24(月)は休館日。

入館料 大人(高校生以上)1400円 小・中学生800円
幼児(3歳以上)500円

図書館のイベント

大正図書館 市バス「大正区役所前」	☎06-6552-1116 ☎06-6551-9362
夏休み 月ようおはなし会 7/20(月・祝)・27(月)・8/3(月)・10(月)・17(月)・24(月)・31(月) 11:00～11:30 全1回 幼児と小学生・保護者 20名(当日先着順) ●無料	
天王寺図書館 地下鉄「谷町九丁目」近鉄「大阪上本町」市バス「上本町八丁目」	☎6771-2840 ☎6771-3801
ほちほちのおはなし会 7/25(土)15:00～15:30 全1回 ●無料 小学生・幼児と保護者 25名(当日先着順)	
浪速図書館 地下鉄「大国町」	☎6632-4946 ☎6632-4973
【なにわの日参画イベント】リサイクル工作教室 7/24(金)・8/21(金) 14:00～16:00 全1回 ●無料 各20名(定員になり次第締切) 幼児から(6歳以下の方は保護者同伴) ●電話か来館にて、7/24分は受付中。8/21分は8/1(土)10:00～	
西淀川図書館 市バス「歌島橋バスターナル」	☎6474-7900 ☎6477-0463
夏のこども会 7/29(水) 15:00～16:00 どなたでも 50名(当日先着順) ●無料	
淀川図書館 JR東西線「御幣島」市バス「十三」	☎6305-2346 ☎6305-9129
おたのしみ会 7/18(土)・8/1(土)・8/8(土)・8/15(土) 15:00～15:30 全1回 小学生・幼児と保護者 50名(当日先着順) ●無料	
東淀川図書館 JR阪急「淡路」市バス「東淡路一丁目」	☎6323-5476 ☎6323-1738
リサイクル工作教室「紙バツで紙すき教室」 8/18(火)14:00～16:00 全1回 ●無料 どなたでも(10歳以下は保護者同伴) 20名(先着順) 8/1(土)10:00～電話か来館にて	
東成図書館 地下鉄「今里」市バス「地下鉄今里」	☎6972-0727 ☎6972-0278
リサイクル工作教室「紙すき」 8/1(土) 午前の部10:00～11:30 午後の部13:00～14:30 全1回 ●無料 小学生以下の子どもと保護者(中学生以上は一人で参加可能) 各20名(定員になり次第締切) ●電話か来館にて	
生野図書館 市バス「六地橋」	☎6717-2381 ☎6717-3119
おはなしと音楽のおたのしみ会 8/29(土) 14:00～15:00 全1回 ●無料 30名(当日先着順) 小学生(リコーン特参・幼児(バットボルト特参)と保護者	

各図書館の詳細

※月曜日・毎月第3木曜日(国民の祝日と休日は開館)・年末年始・蔵書点検期間
●火～金曜日(第3木曜日は休館)は10:00～19:00 土・日・祝・休日・7/21～8/31の月曜日は10:00～17:00

旭図書館 市バス「旭区役所」旭区民センター「緑小路」	☎6955-0307 ☎6955-0287
夏のおはなし会 7/18(土)14:00～14:40 全1回 どなたでも 100名(当日先着順) ●無料	
城東図書館 地下鉄「鶴野」蒲生4丁目市バス「新喜多東」新喜多大橋	☎6963-6680 ☎6963-6688
夏のこども会～どんぐりの入形ききとラプリーシアター★ 7/25(土)14:00～15:00 全1回 ●どなたでも 無料 50名(当日先着順) ※持ち物・靴を入れる袋	
鶴見図書館 地下鉄「鶴見」	☎6913-0772 ☎6913-3975
夏のお楽しみ会「クリンクリン・フィリンミンミン・タンタノ鳥の音楽」 8/2(日)14:00～15:00 全1回 ●無料 どなたでも 60名(当日先着順)	
阿倍野図書館 地下鉄「阿倍野」市バス「阿倍野筋四丁目」	☎6656-1009 ☎6656-1043
こわ～いおはなし大会 8/1(土)14:00～15:00 全1回 30名(当日先着順) ●無料 ●小学生	
住之江図書館 地下鉄「住之江公園」	☎6883-2788 ☎6883-8840
夏のこども劇場「どんぐりのラプリーシアター」 8/8(土)11:00～12:00 全1回 ●80名(当日先着順) 小学生・幼児とその保護者 ●無料	
住吉図書館 南海「沢ノ町」	☎6606-4946 ☎6606-6987
どんぐり工作教室 8/2(日)14:00～15:30 全1回 無料 25名 ●小学生以上 ●7/25(土)10:00～図書館カウンターで参加券配布 ●8/2(日)	
東住吉図書館 地下鉄「駒川中野」	☎6899-7000 ☎6899-3222
ハレットのおはなし会 なつ!あつ! 7/20(月・祝)14:00～15:00 全1回 ●無料 50名(当日先着順) ●どなたでも	
平野図書館 市バス「平野東一丁目」平野公園前 JR「平野」・「加美」	☎6793-0881 ☎6791-5038
こども連歌の会 7/31(金)14:00～16:00 全1回 なし ●無料 ●小学生～中学生	
西成図書館 地下鉄「岸里」	☎6659-2346 ☎6659-8599
おたのしみ会「夏休み特別版」 西成区民センター2-2 7/28(火)11:00～11:45 全1回 児童・幼児と保護者 30名(当日先着順) ●無料	

内容 ● 日時 ● 会場 ● 料金 ● 申込 ● 定員 ● 材料 ● 交通 ● 対象
メール ● ホームページ ● インターネット(https://www.manabi.city.osaka.lg.jp)(いちようネット)

事業の名称、開催日時等は主催者の都合により変更になることがあります。

図書館のイベント

中央図書館 地下鉄「西長堀」	☎6539-3301 ☎6539-3335
夏休みこども図書館員講座 7/29(水)・8/11(火)14:00～16:00 全2回 ●無料 小学4年生～中学3年生までの2回とも参加できる方 10名 ●7/13(月)～電話か来館にて(先着順) 【予約】18/4(火)14:00～16:00	
北図書館 地下鉄「天神橋筋六丁目」市バス「天神橋八丁目」	☎6375-0410 ☎6371-3177
工作教室 自然からの贈り物で作ってみよう 木端細工 8/2(日)10:30～12:00 全1回 5歳以上の子どもと保護者 20名 ●100円(材料費) 7/14(火)10:00～電話か来館にて(先着順)	
都島図書館 JR「大阪城北詰」京阪・JR「地下鉄京橋」市バス「都島区役所前」	☎6354-3229 ☎6354-7822
リサイクル工作教室 ●7/28(火)14:00～15:00 全1回 小学生 20名 ●無料 7/1(水)～電話か来館にて受付。定員になり次第締切 ※小学生未満の弟・妹が一纏に受けるときは、保護者同伴。当日は「作品を持って帰る袋」を持ってきてください。	

内容 ● 日時 ● 会場 ● 料金 ● 申込 ● 定員 ● 材料 ● 交通 ● 対象
メール ● ホームページ ● インターネット(https://www.manabi.city.osaka.lg.jp)(いちようネット)

事業の名称、開催日時等は主催者の都合により変更になることがあります。

平成26年度学校図書館活性化事業報告

調査月：平成26年11月

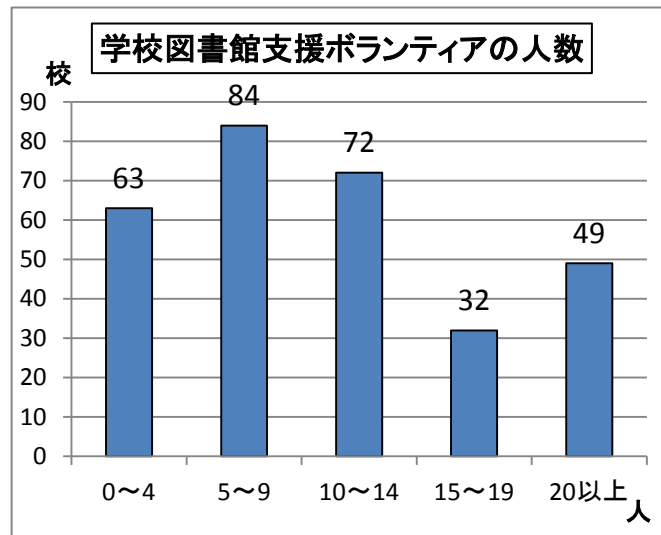
対象：大阪市立全小学校299校（郊外校を含む）

1. 学校図書館支援ボランティアの人数

ボランティア人数合計	3,426 名
1校あたり平均	11.5 名

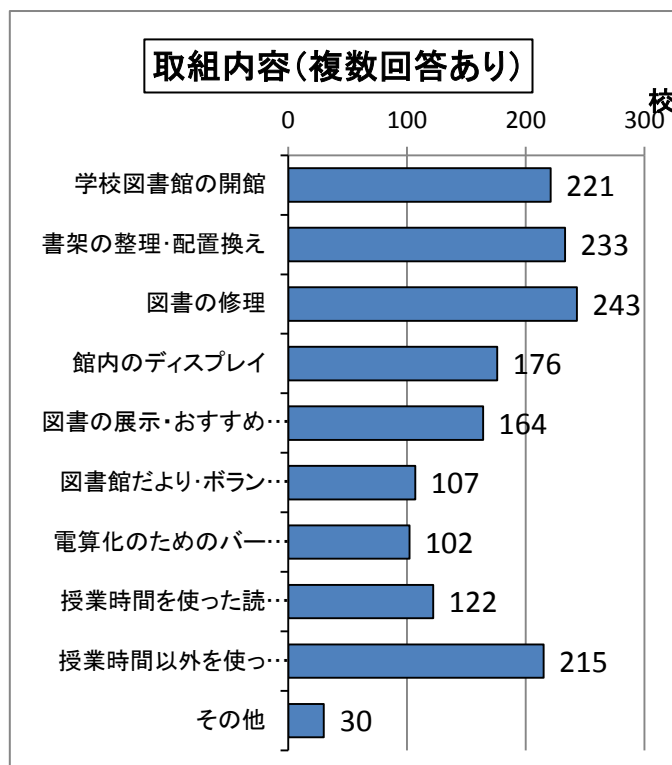
ボランティア人数(名)

0～4	63 校
5～9	84 校
10～14	72 校
15～19	32 校
20以上	49 校



2. 取組内容(複数回答あり)

学校図書館の開館	221 校
書架の整理・配置換え	233 校
図書の修理	243 校
館内のディスプレイ	176 校
図書の展示・おすすめ本の紹介	164 校
図書館だより・ボランティアだより等の発行	107 校
電算化のためのバーコード装備等	102 校
授業時間を使った読みきかせ等	122 校
授業時間以外を使った読みきかせ等	215 校
その他	30 校



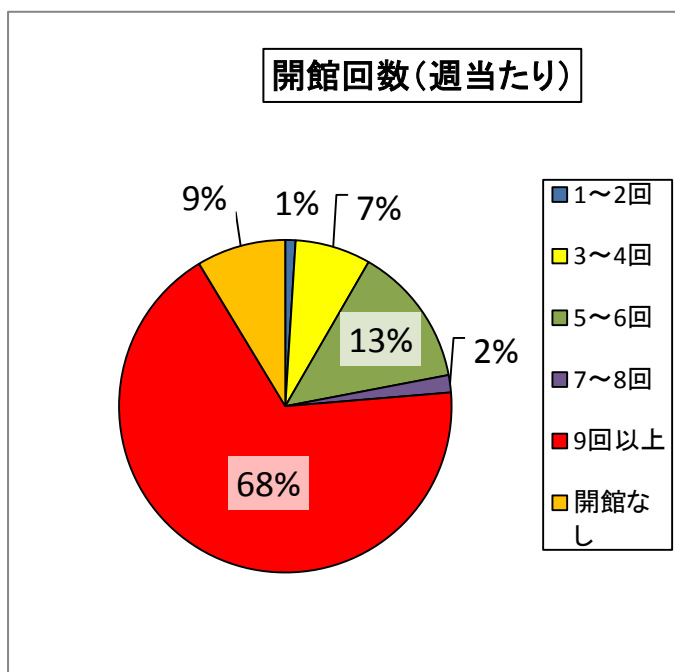
授業時間以外の開館状況(全体)

開館回数(週当たり)

合計	4,368 回
平均	4.8 回

※授業時間以外に開館している 293 校の平均

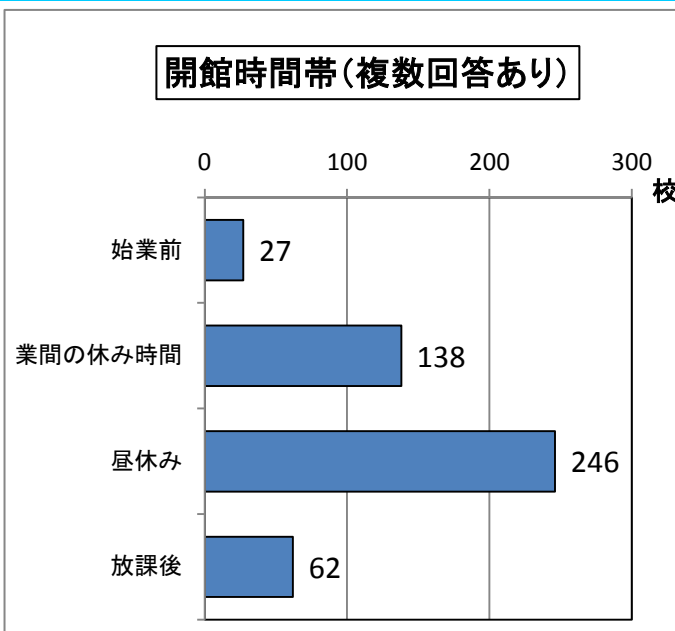
1～2回	3 校
3～4回	22 校
5～6回	41 校
7～8回	5 校
9回以上	203 校
開館なし	26 校



開館時間帯(複数回答あり)

始業前	27 校
業間の休み時間	138 校
昼休み	246 校
放課後	62 校

※授業時間以外に開館している 293 校の回答



3-2. 授業時間以外の開館状況(ボランティアによる開館状況)

開館にボランティアが関わっている	163 校
開館にボランティアが関わっていない	130 校

※授業時間以外に開館している 293 校の回答

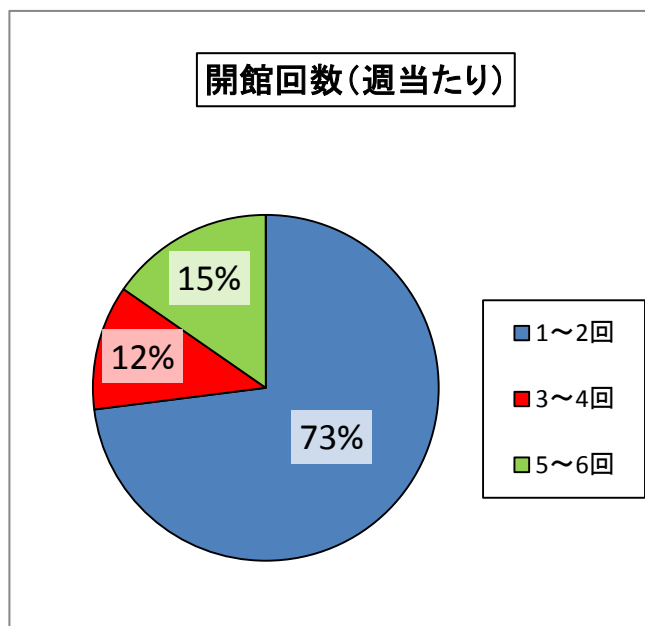
開館回数(週当たり)

合計	353 回
平均	2.2 回

※開館にボランティアが関わっている 163 校の平均

1~2回	119 校
3~4回	19 校
5~6回	25 校
7~8回	0 校
9回以上	0 校

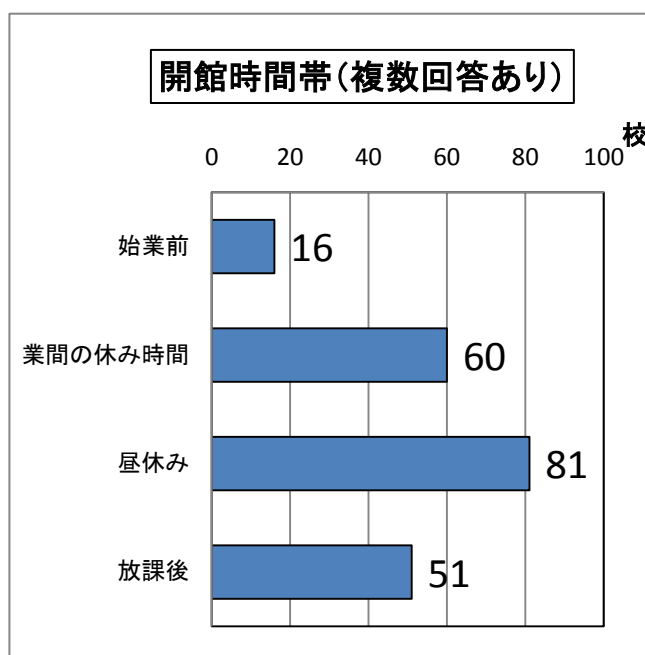
※開館にボランティアが関わっている 163 校の回答



開館時間帯(複数回答あり)

始業前	16 校
業間の休み時間	60 校
昼休み	81 校
放課後	51 校

※開館にボランティアが関わっている 163 校の回答



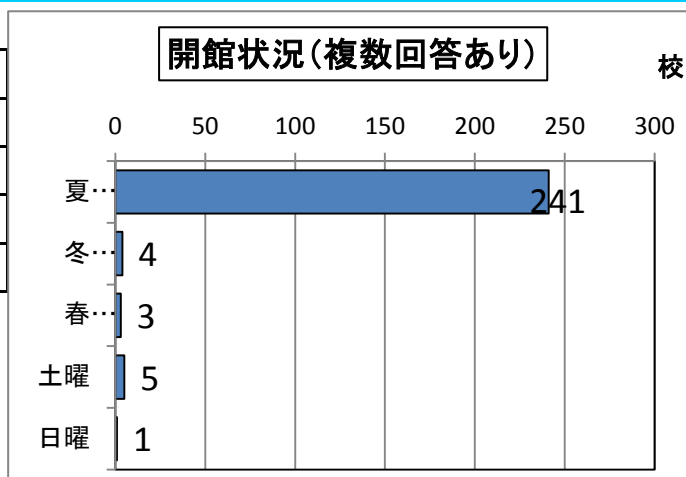
4-1. 課業外の開館状況(全体)

開館した(する予定)	243 校
開館しなかった	56 校

開館状況(複数回答あり)

夏休み	241 校
冬休み	4 校
春休み	3 校
土曜	5 校
日曜	1 校

※開館した(する予定)の 243 校の回答

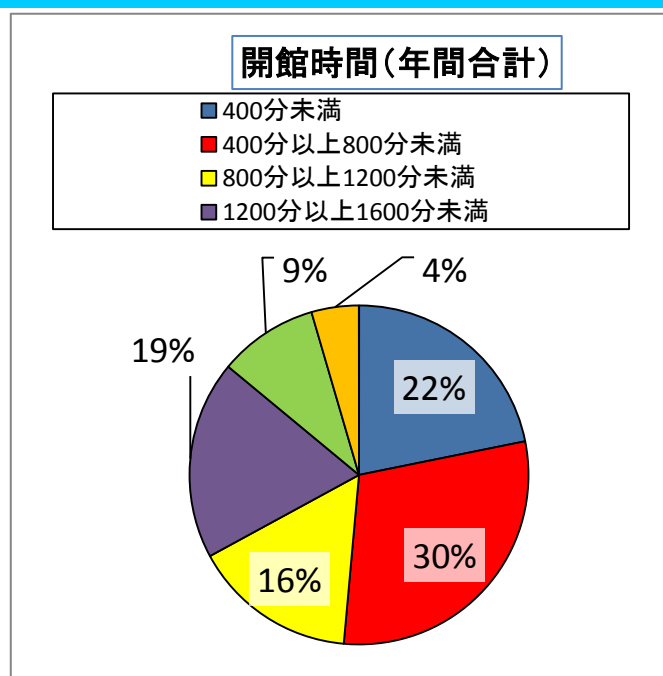


開館時間(年間合計)

合計	234,806 分
平均	966.3 分

※開館した(する予定)の 243 校の平均

400分未満	53 校
400分以上800分未満	72 校
800分以上1200分未満	38 校
1200分以上1600分未満	46 校
1600分以上2000分未満	23 校
2000分以上	11 校



開館回数(年間合計)

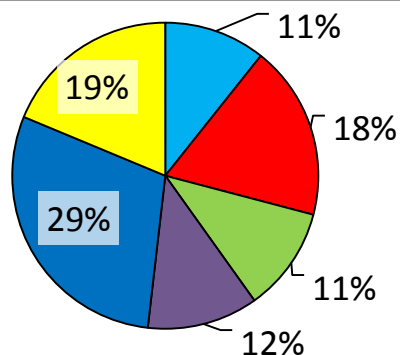
合計	1,692 回
平均	7.0 回

※開館した(する予定)の 243 校の平均

1～2回	32 校
3～4回	55 校
5～6回	33 校
7～8回	35 校
9回以上	88 校
開館なし	56 校

開館回数(年間合計)

■ 1～2回 ■ 3～4回 ■ 5～6回
■ 7～8回 ■ 9回以上 ■ 開館なし



4-2. 課業外の開館状況(ボランティアによる開館)

開館にボランティアが関わっている	126 校
開館にボランティアが関わっていない	117 校

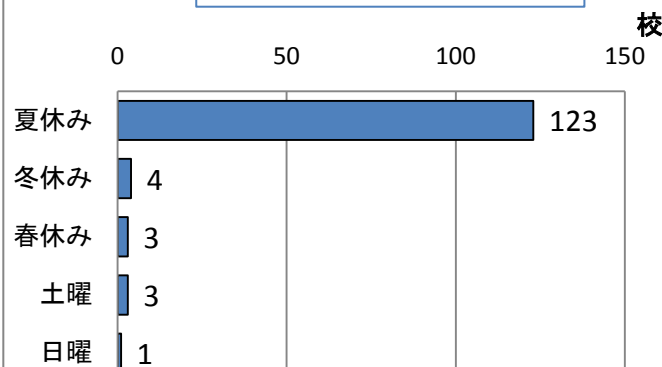
※開館(する予定)している 243 校の回答

開館状況(複数回答あり)

夏休み	123 校
冬休み	4 校
春休み	3 校
土曜	3 校
日曜	1 校

※開館にボランティアが関わっている 126 校の回答

開館状況(複数回答あり)



開館時間(年間合計)

合計	102,436 分
平均	813.0 分

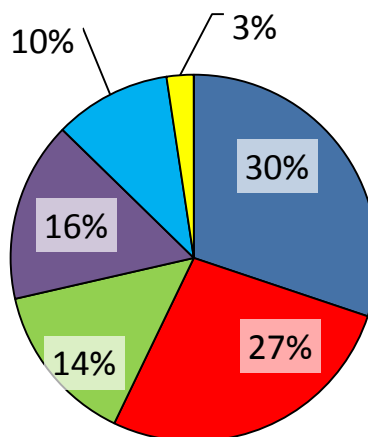
※開館にボランティアが関わっている 126 校の平均

400分未満	38 校
400分以上800分未満	34 校
800分以上1200分未満	18 校
1200分以上1600分未満	20 校
1600分以上2000分未満	13 校
2000分以上	3 校

※開館にボランティアが関わっている 126 校の回答

開館時間(年間合計)

- 400分未満
- 400分以上800分未満
- 800分以上1200分未満
- 1200分以上1600分未満



開館回数(年間合計)

合計	750 回
平均	6.0 回

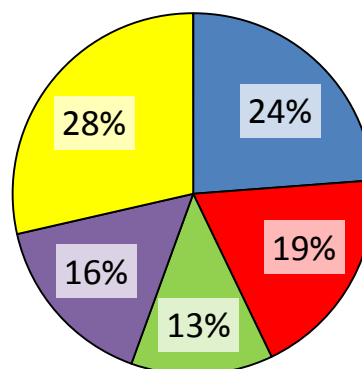
※開館にボランティアが関わっている 126 校の平均

1~2回	30 校
3~4回	24 校
5~6回	16 校
7~8回	20 校
9回以上	36 校

※開館にボランティアが関わっている 126 校の回答

開館回数(年間合計)

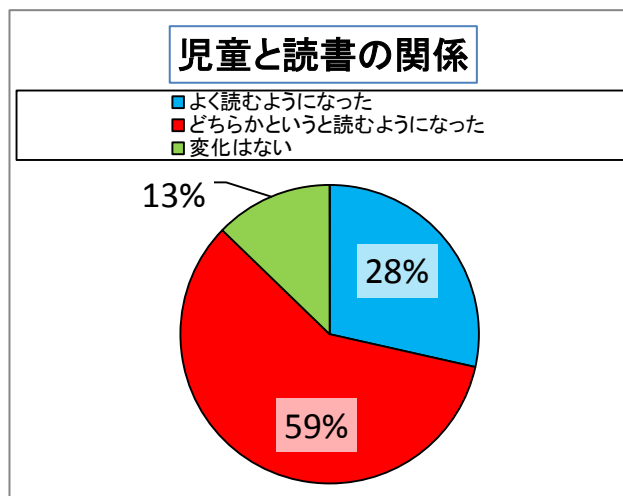
- 1~2回
- 3~4回
- 5~6回
- 7~8回
- 9回以上



5. 児童と読書について(事業実施前後の比較)

事業実施前後を比較して、児童は本をよく読むようになりましたか。よく読むようになったか

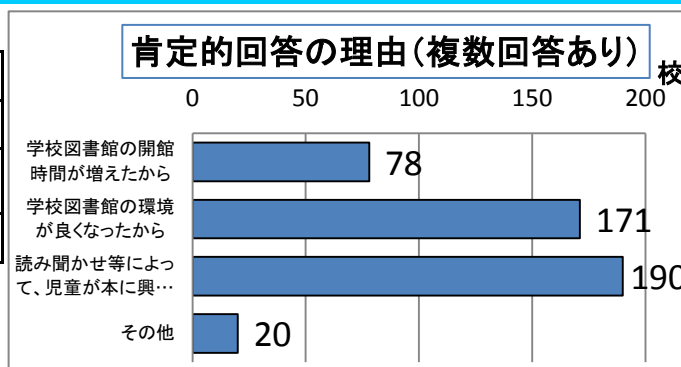
よく読むようになった	85 校
どちらかという読むようになった	175 校
変化はない	38 校



「よく読むようになった」または「どちらかという読むようになった」と答えた理由(複数回答あり)

学校図書館の開館時間が増えたから	78 校
学校図書館の環境が良くなったから	171 校
読み聞かせ等によって、児童が本に興味を持つようになったから	190 校
その他	20 校

※ 肯定的回答をした 260 校の回答



6. 学校図書館での貸出冊数の事業実施前後の増加の有無

増加した	195 校
変化はない	101 校

8. 学校図書館の蔵書管理の電算化

電算化をしている	153 校
電算化していない	146 校

電算化の開始時期

今年から	83 校
昨年から	37 校
3～5年前から	17 校
5年以上前から	11 校
未回答	0 校

市販のパッケージソフトの活用状況

市販のパッケージソフトの活用している	129 校
活用していない	66 校

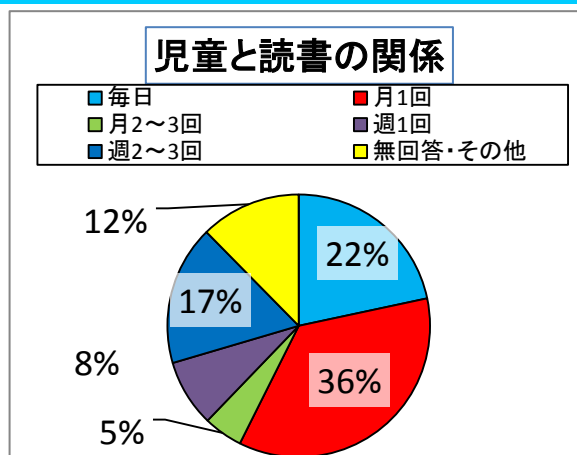
9. 図書委員について

図書委員会がある	291 校
図書委員会がない	8 校

活動の頻度

毎日	63 校
月1回	104 校
月2～3回	14 校
週1回	24 校
週2～3回	50 校
無回答・その他	36 校

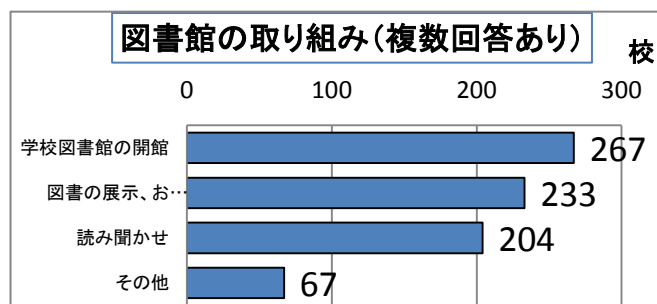
※図書委員会がある 291 校の回答



図書委員会の取り組み(複数回答あり)

学校図書館の開館	267 校
図書の展示、おすすめ本等の紹介	233 校
読み聞かせ	204 校
その他	67 校

※図書委員会がある 291 校の回答



10. 本年度特に重点的に行った活動内容や、学校図書館を活用した授業実践について、自由にご記入ください。また、活動によって児童の読書活動にどのような変化がみられたか等、活動の成果についても自由にお書きください。

学校図書館の環境に関するもの

蔵書管理の電算化により図書の管理がしやすくなった。 他31校

はぐくみ文庫が今年度入り、新しい本が多数入庫したため貸し出しが増えた。また、購入の際できるだけ子供たちの意見を聞いたり、貸し出し回数の多いものを選んだりしたため興味を持って本を読む子が増えた。読書週間では、ポイントラリーを行い、多くの児童が図書館を訪れ本を借りていった。

絵本のシールの色と作者名が一致していないものがたくさんあったので、シールをつけなおしをかなり多数行った。また、本の整理修理を徹底して行うことにより、本をなおす場所を覚える児童が多くなり、より一層図書室の整理整頓につながった。

本年度、図書館のさらなる効果的な空間づくりを目指し、戦略予算をいただいて、魅力のある読書空間を作った。また、机・いす・ベンチ・カーテン・掲示板など新しいものに取り変わり、落ち着いて、そして楽しんで子どもたちは読書をしている様子が見られる。 他1校

地域図書館から、絵本400冊を借り、面展台を作成して展示した。(図書館内のディスプレイ絵本広場) 他2校
購入した新刊本への興味・関心が高く、「早く借りたい」と声があがっている

授業での取り組みに関するもの

学校図書館の研究授業

社会・国語の調べ学習に活用した。他11校

説明文の読後、ブックガイドを作る

物語文学習後、同じ作者の本を紹介するなどの活動から、本に興味関心をもつ児童が増えつつある。区立図書館からの団体貸し出しの活用が増えた。児童に図書が行き渡り、学習が活発になった。

低学年(2学年)図書館の使い方を授業実践することで、図書館には、種類の違う本の仲間があることに気付くことができた。また、読んでみたい本、読みたい本の接し方が分かり本に興味をもつことができた。

学校図書館の開放や図書委員の活動に関するもの

書架を整理し本の貸し出しを図書館開放時に行った。それによって、本を自由に選び借りられることで、図書館に来る児童が増えた。 他16校

読書タイムの時間確保や学校図書館の開放に重点的に取り組み、児童はよく本を読むようになってきている。 他16校

今年度は毎日昼休みに図書館開放を行った。本が好きな子が楽しみに待っている。また、読書週間には来館した児童のカードにスタンプを押すスタンプラリーを行ったため、たくさんの児童が来館した。

雨の日の図書館が定着し、たくさんの児童が図書室を訪れるようになった。読書態度もよく、一人一冊の本を静かに読んでいる。

毎日、昼休みに全校放送で図書館開放のお知らせを流し、開放を行った結果、読書の機会を増やすことができた。

図書委員・高学年による読み聞かせにより、本への興味関心が高まった。 他5校

年間を通して委員会児童による紙芝居の読み聞かせを行った。その結果、聞く態度も良く、お話に興味を持つ子が増えた。 他2校

学校図書館だよりの発行

学級・学年の活動に関するもの

学年に合わせたおすすめの本を学級文庫として設置し、児童が手に取りやすくなった。

各学年でおすすめの本やしおり作り等に取り組み、全員の作品を図書館周辺に掲示した。

図書館だけでなく、学級文庫にも新しく購入した本を入れ、学級での読書活動の充実を図っている。

読書量を増やすために、60冊・80冊・100冊完読を目標に取り組んだ。その結果、読書量が増え、児童アンケート

の結果「本が好き」と答える子の割合が増加した。

図書に関する取組に関するもの

秋の読書習慣の設定 11/10～21 読書スターカードの配布

11月の読書集会は、図書委員が、絵本「どうぞのいす」の劇をおこなった。その後、図書館に「どうぞのいす」を置くのと低学年にとっても人気があった。また、読書マラソンを行い、手作りのしおりもプレゼントした。

児童図書委員会学校独自の「ワンブック」の取組応募作品は図書館に「展示ボランティア結成10周年を記念して「すくすく文庫」の設置

初めて読書郵便の取り組みを11月末から12月初めにかけて2週間行った。児童集会で図書委員から読書郵便の説明をしたのでよく理解してもらえた。はがきの内容も担当が点検し確認のサインをすることにしたので、きちんとはがきも書けていた。本の紹介が目的であるが、これを機会に本を読む児童が増えてきた。他1校

福島図書館と積極的な連携を図り、学級単位の貸し出しを充実した。その結果、本の種類や冊数も増え、児童が本を手にとることが増えてきた。

ビブリオバトルや書評漫才など学校図書館の本を利用して活動した。子どもたちにとって印象深く、心に残る活動になった。他2校

読書数に合わせた表彰 他2校

児童集会等での「読書クイズ」 他3校

読書貯金 他1校

読書週間に「読書の木」を企画し、各クラスに配り、葉っぱを読んだ本の題名、自分の名前を書き木に貼っていった。子どもたちは木が茂ることを喜びに沢山読むきっかけとなった。読書週間の終わりには、読書の木を図書室前に集め、読書の森を作った。他1校

ボランティアの取り組みに関するもの

ボランティアのみなさんによる読み聞かせ 他30校

読書週間では図書館ボランティアのスマイルさんを講堂に招き全児童を対象にパネルシアターをしていただいた。

地域の方による読み聞かせ(1年)

ボランティアの方々による長期休業中や放課後の図書室開放の実施回数が増加し、図書室を利用する児童化が増えた。他1校

図書ボランティアによる図書委員への講座(本の選び方や読み聞かせの仕方など)

学期に1回、図書ボランティア主催で紙工作教室などを実施した。図書ボランティアと児童の交流ができ、図書館にも親しみを持たせることができた。

夏休みにボランティアに読み聞かせのコツ等を委員会の児童に教えてもらい、2学期には併設幼稚園に読み聞かせに行った。

11. 来年に向けての課題がありましたら自由にお書きください。

	館内の催し(実施件数) <small>(子ども読書の記念事業、大阪市図書館フェスティバル含まず)</small>					子ども読書の日記念事業(春)		大阪市図書館フェスティバル(秋)		幼児期読書環境整備事業						ブックスタート事業 (実施施設数)
	絵本の読み聞かせ(含ストーリーテリング、紙芝居)	人形劇	工作教室	おりがみ教室	乳幼児向けおたのしみ会	内容	参加者数	内容	参加者数	配本事業(実施施設数)			ボランティア派遣(実施施設数)			
										幼稚園	保育所	その他子育て支援施設	幼稚園	保育所	その他子育て支援施設	
中央図書館(西区)	186	0	4	0	24	特別おたのしみ会「パロムロムパまつり★全員集合」4/26	102	アートで遊ぼう 11/1	120	6	7	0	5	2	0	3
						図書館たんけん隊! 11/2	13									
						「おはなしたのしいでえ! in大阪」フェスティバル 11/8・9	3,342									
					中西らつ子講演会「らつ子とらくご」4/27	270	大阪市音楽団金管アンサンブルによるファミリーコンサート 11/16	310								
						いわいとしおワークショップ&講演会「みんなでつくろう! 100かいだてのいえ」11/22	127									
						第3回書評漫オグラブリ 11/23	200									
					こどものための落語会がらす落語イラスト紙芝居 5/5	100	川上じゅん腹話術の世界 11/24	250								
						多文化にふれるえほんのひろば 11/29・30	1,415									
						えほんの時間11/12,11/14(自動車文庫)	26									
北図書館	40	0	1	0	9	春のおたのしみ会 4/26	60	どんぐりんの人形劇とラブリーシアター 11/8	32							
都島図書館	48	1	1	0	12	シフカ・ブルカのわいわいおはなし会 4/30	29	シフカ・ブルカのほっこりおはなし会 11/29	23	1	7	1	1	2	0	3
福島図書館	67	0	2	4	11	ま〜るま〜るびっくりりぼこ 4/26	40	絵本のひろば 10/25	80	3	10	0	3	8	0	3
此花図書館	35	1	13	0	10	春のこども会 4/19	28	秋の子ども会 10/25	25	1	6	2	1	6	2	3
島之内図書館(中央区)	51	1	0	0	22	春のこども会 4/26	37	工作教室「いたずらねをつくろう」10/25	26	7	5	0	6	3	1	3
港図書館	63	0	1	0	11	春のこども会 4/29	20	秋のこどもかい 11/16	11	0	7	2	1	6	0	3
大正図書館	49	0	0	10	51	アナンシのこども会 4/26	11	さわる絵本をつくってみよう 11/2	15	6	10	2	2	6	0	3
天王寺図書館	62	0	4	0	12	ぼちぼちのおはなし会+ミニ絵本展 4/26	44	ぼちぼちのおはなし会 10/25	20	6	9	0	6	5	0	2
浪速図書館	51	2	3	0	12	作って、あそんで、人形劇 4/26	22	ぐるーぶ ぬ! 劇場 10/25	41	2	8	1	2	9	2	4
					としよかんの誕生日おめでとう! 4/27	12	ネイチャークラフト 11/15	8								
西淀川図書館	79	0	2	0	36	パタポン春のおはなし会 4/26	31			4	14	6	3	15	5	5
淀川図書館	40	0	2	2	35	むか〜し、昔あったとき 4/27	26	秋の子ども会 10/25	27	3	13	4	3	8	2	7
東淀川図書館	37	0	2	0	33	びよびよスペシャルデー4/23	75	いたずらネコをつくろう! 10/26	25	3	8	5	0	8	0	7
東成図書館	74	0	3	0	12	おはなしびっくり箱 4/20	49	秋のおたのしみ会 10/26	48	8	5	1	6	7	2	2
生野図書館	10	0	6	5	12	春の子ども会 4/26	10	秋の子ども会 ぐるーぶ ぬ!!げきじょう 11/2	43	8	11	2	3	4	1	7
							おりがみ教室スペシャル 11/15	33								
旭図書館	55	0	2	0	12	どんぐりんの人形劇とラブリーシアター 4/26	56	どんぐりんの人形劇とラブリーシアター 11/29	145	1	6	2	2	9	0	3
城東図書館	60	2	4	0	2	春のおはなし会 4/19	63	秋のこども会11/1	45	2	11	4	2	6	0	8
					春のこども会 4/27	44										
鶴見図書館	42	1	3	6	29	ちいさな子のためおたのしみ会 4/26	62	くみどりの秋風ライブ10/25	52	1	12	2	1	8	0	4
					でんでんむしのおはなし会 4/26	22										
阿倍野図書館	61	1	2	0	36	大きなおきなおたのしみ会① 4/19	35	パネルシアターをたのしもう! 11/8	59	2	5	1	1	3	0	3
					大きなおきなおたのしみ会② 4/26	53										
					大きなおきなおたのしみ会③ 5/3	29										
住之江図書館	49	2	6	1	12	絵本であそぼ! 4/26	43	テーブル人形劇! おだんごばん! 10/25	88	2	8	2	1	7	2	6
						えほんでつなごう今のこども昔のこども 10/31	37									
						どんぐり工作 ブランコ形のリースを作ろう 11/2	24									
						紙すきをやってみよう 11/8	30									
住吉図書館	87	1	12	2	50	春のおはなし大会 4/26	59	秋のおはなし会 11/2	74	6	7	4	5	6	3	6
							ねこの人形教室 11/29	31								
東住吉図書館	77	0	3	2	12	春のおはなし会 ごちそうカレンダー 4/20	26	えほんひろば	35	1	9	4	0	9	2	6
平野図書館	37	0	13	0	34	キッズシアターかみふうせんのおたのしみ会4/26	70	キッズシアターかみふうせんのおたのしみ会10/25	68	8	13	8	6	12	0	9
西成図書館	54	0	3	0	12	るるん えほんのひろば 4/26	12			3	10	6	3	10	2	6
合計	1,414	12	92	32	501		1,540		6,948	88	207	60	68	164	25	109

	学校との連携 (件数)								学校図書館活 性化事業実施 校	ボランティア養成・ステッ プアップ		区の子どもの読書活 動推進連絡会開催日	自動車文庫 ステーション 数	
	団体貸出件 数(校数)	貸出冊数	図書館見学	調べ学習 支援	おはなし会等 読書支援	学校図書館 整備支援 (回数)	体験学習 (人数)	図書主任会 への参加		回数	参加者 (延人数)			
中央図書館(西区)	33	5,268	23	8	24	0	11	0	平成22年度か ら全校実施	18	790	10月20日	1	
													3月6日	
北図書館	15	4,667	10	42	12	0	10	1		7	46	3月4日	4	
都島図書館	11	3,590	5	31	3	0	6	1		5	29	3月3日	3	
福島図書館	12	4,857	12	18	82	0	10	1		11	54	1月23日	1	
此花図書館	8	2,076	10	21	0	0	4	0		10	36	3月5日	4	
島之内図書館(中央区)	5	1,689	8	9	63	0	8	1		5	51	2月26日	1	
港図書館	12	2,345	11	24	86	0	16	0		4	56	3月24日	2	
大正図書館	14	2,816	18	23	103	0	3	0		4	18	3月5日	2	
天王寺図書館	9	5,000	10	8	99	0	12	0		6	68	4月10日	1	
浪速図書館	11	1,353	8	13	460	1	5	1		10	58	2月4日	1	
西淀川図書館	14	3,954	11	24	21	0	16	0		6	46	12月2日	5	
淀川図書館	20	8,427	7	33	22	7	8	1		7	33	3月20日	10	
東淀川図書館	14	5,118	15	27	42	0	9	0		4	51	3月20日	12	
東成図書館	12	2,266	10	18	128	1	16	0		5	32	3月10日	1	
生野図書館	12	2,768	4	21	107	0	21	0		9	60	3月6日	3	
旭図書館	9	1,421	10	16	27	0	6	1		6	25	3月20日	3	
城東図書館	16	8,918	11	37	7	0	7	1		4	45	2月17日	9	
鶴見図書館	10	4,327	13	35	163	5	12	0		10	88	3月25日	4	
阿倍野図書館	7	1,847	12	23	207	1	13	0		17	127	3月5日	5	
住之江図書館	15	7,197	14	40	6	2	13	0	7	111	2月18日	8		
住吉図書館	20	5,634	15	10	3	0	17	0	12	117	3月10日	9		
東住吉図書館	17	3,824	6	19	228	6	7	0	10	95	2月24日	5		
平野図書館	25	5,122	10	31	119	0	21	1	7	53	2月18日	11		
西成図書館	10	1,676	6	24	61	1	13	0	4	40	1月16日	2		
合計	331	96,160	259	555	2,073	24	264	9	188	##### #		107		

平成 26 年度 各区 子どもの読書活動推進連絡会 報告

1. 構成メンバー

ボランティアグループ、区役所（市民協働担当、生涯学習担当など）、保健福祉センター（子育て支援担当、地域福祉担当など）、保育所、つどいの広場、子育て支援センター、子ども・子育てプラザ、幼稚園、小学校、中学校、区社会福祉協議会など

2. 主な報告

(1) 子育て支援の場での取組み

① 子育て支援センターや子ども・子育てプラザ等施設

- ・図書館と関係施設とで連携した取組みとして、親子フェスタやえほん展などを実施したり、子育て情報誌に絵本の紹介を掲載するなどしている。
- ・定例の土曜日のブックスタート後、図書館職員が講師となり「お父さんの読み聞かせ講座」を開催。
- ・区単位で実施していた「親子のつどい」を中学校区の単位で「子育て支援プロジェクト事業」として5回出張イベントを開催。
- ・子ども・子育てプラザと図書館とのコラボ企画で「ワクワクえほん DAY ♪」を年4回開催。会場は図書館と子育てプラザ両方で2回ずつとした。
- ・子育て支援センターでは「絵本デー」を設定し、各曜日に年齢別に自由に見られるようにした。小さい子も絵本を持って歩いたり、楽しんでいる様子だった。
- ・小学生と乳幼児の交流をはかるため、ブックスタート実施施設で小学生による読み聞かせを実施。

② 保育所・幼稚園

- ・図書館から派遣されたボランティアによるおはなし会は、絵本やパネルシアターなど、ふだんと違う演者や教材なのでありがたい。
- ・図書館からの団体貸出は、幼稚園にある絵本とは違う絵本が読める。子どもたちが本を自分で選んでみる機会にもなっている。他の子にすすめたりしていることもある。
- ・保育所で迎えに来た保護者がこどもをひざの上に座らせて絵本をよむ「座布団読み」・「ざぶとん絵本」を実施。
- ・職場体験に来た中学生が絵本の読み聞かせを行った。

(2) 学校での取組み

① 小学校

- ・読書に親しむ機会を増やす取組みとして、朝の読書タイムを設けたり、ボランティアによる朝の読み聞かせ、1時限分の授業時間内で本の紹介やテーマに沿った読み聞かせなどが実施している。
- ・図書館カードにスタンプ・シールを集め、手作りしおりをプレゼントした。読書週間にスタンプラリーやクイズラリーを行った学校もある。
- ・読書週間には「ワンブック〇〇小」を実施。票がばらけ、一位を決められなかった。
- ・1・2・3年生は年間40冊、4・5・6年生は4000ページを読む取組みをした。

- ・年度初めに図書館利用ガイダンスを実施している。
- ・国語科の単元に連動し、5年生がいろいろな図書館改造のアイデアを出して実行している。
- ・「まなぶくンデー」（生涯学習ルーム関係者がそれぞれ自分のやっていることを子どもたちに教える日）に、人形を一緒に作って絵本と遊ぶという催しを行った。

③ 中学校

- ・ボランティアや市立図書館と連携・協力することで、中学生への絵本の読み聞かせやおはなし会等の行事实施回数は徐々に増加し、週1回など、定期的に始めた学校もある。
- ・図書館からの働きかけが奏功し、区の子どもの読書活動推進連絡会に参加する中学校が増加した。
- ・学校元気アップ地域本部事業地域コーディネーター等の協力を得て、学校図書館の開館や整備を行う中学校が増加した。
- ・図書委員がおすすめの本を展示している。
- ・生徒が近隣の保育園・幼稚園で読み聞かせをしている。

(3) 地域との連携の場での取組み

区役所や地域の施設と、ボランティア、図書館とが連携、協力して実施する絵本展や講座が増えている。また、読書活動の推進に区が独自に取り組んでいる事業もある。

保健福祉センターの3か月児健診での読書普及や読み聞かせも回数が増え、ブックスタートや図書館に足を運ぶ契機となっている。

(区)の取組み

[都島区] 子育て支援ネットワーク会議で、「絵本と親子遊び」年3回実施。

[西区] 「こどもといっしょに！ー絵本を楽しむ西区の日ー」を連絡会主催行事として開催。開催時間内出入り自由とし、複数グループが順番に読み聞かせを実施した。

[中央区] m i n a m i こども教室で絵本の読み聞かせ。外国にルーツをもつ人たちへのサービス、多文化共生事業の実施は、中央区の課題として引き続き取り組んでいる。

[淀川区] 「はぐくみ文庫事業」（平成25～27年度）。H26年度は全8回の読書ボランティア研修を実施。

[東成区] 東成区役所の事業「平和をつなごう in ひがしなり」に、子どもたちによる読み聞かせボランティアのパンジーおはなし会ジュニアが出演し、舞台上で絵本の読み聞かせと群読を行った。図書館内では区役所と共催で「平和をつなぐ本展」として子どもの本コーナーで図書展示を行った。

[旭区] 区役所2階キッズコーナーに絵本を配置。今後は1階住民票窓口の場にもキッズコーナーを設置し、絵本も置いていく。

[城東区] 区役所1階および2階の窓口待合コーナーに点訳絵本を展示。城東図書館から絵本20～30冊を借り受けて2階の待合コーナーに設置している。

「学校図書館活用推進事業」について

H27.7.13 大阪市子どもの読書活動推進連絡会

(1) 概 要

【学校図書館の図書整備】

児童生徒の読書習慣を確立し言語力や論理的思考能力を育むため、また、自ら学び自ら考え、生涯にわたって学び続ける意欲を獲得するため、学校図書館の蔵書を整備し、読書環境の充実を図ります。

【学校図書館補助員の配置】

学校図書館の開館回数を増やすとともに児童生徒の読書活動を推進する魅力ある学校図書館づくりを行うため、平成27年10月より、全小中学校に学校図書館補助員を配置します。

(2) ねらい

【学校図書館の図書整備】

学校図書館には、読書意欲の向上や読書習慣をつけさせる「読書センター機能」、各種の資料やメディアを提供し学習を支える「学習センター機能」、情報活用能力の育成を支える「情報センター機能」があり、これらの役割を果たすためには、蔵書の充実をはじめとする読書環境の整備が必要です。本市の学校図書館において必要であると考える蔵書冊数を、小学校で7,000冊、中学校で8,000冊として、それらの冊数を大阪市図書標準とし、この標準に達していない小中学校に対して、不足分を充足するため、3カ年計画で予算を配当し、図書整備を行います。

【学校図書館補助員の配置】

小学校では、学校図書館活性化事業で学校図書館支援ボランティアの養成を行い、学校図書館支援ボランティアによる学校図書館の開館時間の延長や図書の整理、読み聞かせ等の取組を行っています。中学校では、学校元気アップ地域本部事業で各校の実情に応じて、学校図書館の開館時間の延長や図書の整理等を取組を行っています。これらの取組により、児童生徒の読書意欲の醸成、読書習慣の確立に一定の成果が見られています。昨年度は、学校図書館の開館状況について、小学校では週当たり平均約4.5回、中学校では平均約5.5回であり、今後さらに、開館回数を増やしつつ、魅力ある学校図書館づくりを行い、児童生徒の読書活動の推進を図っていくためには、司書教諭をはじめとする教員を中心として行っている読書環境の整備や、ボランティアとのさらなる連携・協力に関する業務を補助することができる人材が必要です。

(上記は、大阪市ホームページにて市民向けに周知している文章です。)

「読みたい本がそろったよ！」

～学校図書室における整備と活性化について～

大阪市立梅南中学校
学校元気アップ地域コーディネーター
稲瀬 美幸

梅南中学校の元気アップ地域コーディネーターをしております稲瀬と申します。どうぞ、よろしく申し上げます。本日は、「梅南中学校図書室における整備と活性化について」発表させていただきます。梅南中学校は、平成25年4月に学校元気アップ地域本部事業が、発足しました。元気アップの取組みとして、学習支援と図書室の活性化の支援を中心に活動しています。学習支援の取組みとして、毎週土曜日の午前中「サタディワーク」と名付けて、学習支援ボランティアをお招きして、自学自習方式の学習会を実施しています。

図書室の整備と活性化の取組みとして、平成25年4月に学校長から図書室の整備を依頼されました。当時、学校は生徒が落ち着きのない状態で、先生方は生徒の対応に追われる日々が続いていたために図書室の整備に手が回らず、図書室の環境は良くない状態でした。最初に、図書室のカーテンを洗濯しました。開校時から1度も洗ったことのないカーテンは破れ、汚れも落ちなかった事を先生に報告し、新しいカーテンの購入手続きの依頼をしました。掃除はもちろんのことですが、手始めに乱雑に並んだ本と本棚の整理から始めました。図書部の顧問の先生と生徒達に、図書室にある7千冊の中から不要な本の選択の協力依頼をしました。何年も触ってない本ですので、手は真っ黒になり、ほこり塗れになりながら、約半年間、放課後等の時間ごとに一緒に作業しました。不要な本の最終確認は図書部の顧問の先生にさせていただきました。その後、元気アップのメンバーで、大量の不要な本を図書除籍簿に記入後、束ねて図書準備室に移動させました。次に、本棚の移動と本の陳列作業に入りました。本の陳列についてですが、平成25年11月に学校長のはからいで、教育委員会学力向上グループの司書の先生に梅南中学校に来ていただき図書室の本の陳列方法などのご指導いただきました。

1. 図書の分類法
2. 古い図書は表紙のカバーを外して、きれいに見せる。
3. おすすめの本は陳列のポイントとして、表紙を見せるようにする。
4. おすすめの本や話題の本などの、コーナーづくりをする。

5. 日本文学は冊数が多いので、作者をあいうえお順に並べて、差込掲示板を作成し、本を探しやすくする。
6. 低い本棚を活用し、机の配置を変える。
7. 生徒の作品やポスターを掲示する。
8. 中学生に人気のある本を紹介する。
9. 図書室の見取り図の見本を紹介する。

以上の項目を順番に作業していきました。学校長をはじめ、教職員の皆さん、生徒達の協力のもと、約1年間で図書室の整備が終了しました。

次の課題として、図書室の活性化についてお話させていただきます。平成26年1月頃に、元気アップから学校長に昼休みの図書室開放の提案をさせていただきました。梅南中学校では、週に3日（月、水、金）文化委員会の取組みとして、昼休みの図書室開放をしていました。そこで、残りの2日間（火、木）を元気アップの担当で図書室開放をすることになりました。当時の図書室開放の様子ですが、文化委員の図書室開放は、長年の取組みとして定着していることもあり、利用している生徒は平均して10名以上いました。元気アップで図書室開放を開始するにあたって、全生徒に「昼休みは、図書室を毎日開放しています」という内容の手紙を配布しました。しかし、元気アップ事業に対する周知も低く、図書室に来る生徒は初め2~3人位でした。何か対策がないかと考え、平成26年3月に、地域のボランティアの方に依頼をし、読み聞かせをしていただきました。梅南中学校では、昼休みの図書室開放を利用しての読み聞かせをするのは、初めての取組みでした。少し不安でしたが、参加した生徒達はしっかり聞いていました。当日は先生方も来ていただき、12名の参加となりました。

その後も、火曜日と木曜日の図書室開放の生徒への周知は、あまり進まない日々が続く中、平成26年4月に、教頭先生から職員会議に出席して元気アップの活動の報告をするようご提案いただき、職員会議でサタディワークや図書室開放の活動報告をさせていただくようになりました。夏休みには、先生方に図書室の本のデーターを2~3週間かけてパソコンに、入力していただきました。そして、元気アップとして、新しい本の選択と購入リストの作成を担当させていただくようになりました。本の選択をするにあたって、「**子ども達が希望する本がある図書室に!**」と考え、「元気アップ図書だより」を発行し、その中で希望する本を募集しました。図書室のカウンターに「リクエストブックカード」を設置し、いつでも生徒がほしい本を記入できるコーナーをつくりました。自学自習に役立つ本は、先生方に協力の依頼をしました。元気アップとしても、本屋大賞受賞の本や話題のドラマや映画の原作本等を調べた後、購入リストを作成しました。早々に購入手続きをしていただき、10月以降、4回に分けて新しい本471冊が学校図書室に納入されました。そこで、新刊コーナーをつくり新しい本を見やすくしました。

その結果、図書室開放に本を読みに来る生徒は増え始めました。一部の生徒からは、「図書室に新しい本いっぱいある」、「映画の原作本や」、「この本、読んでみたい」「ほしい本あるからリクエストブックカードに書いとくわ！」など話かけてくれるようになりました。本の貸し出しも増え始めたので、図書室の本の貸し出しと返却のルールを再確認するために、文化委員会担当の先生と連携をとり、『図書だより』を発行して全生徒に配付しました。ボランティアの方も少人数ではありますが、毎週のように学校に来て、図書室の開放の支援をいただいています。昨年度からは、梅南中学校図書室は、昼休みの図書室開放だけでなく、先生方の授業でも活用いただいています。また、図書部の活動も週に2日から3日に増え、楽しい時間を過ごしています。他にも図書室では、『サタディワーク』『放課後学習会』『ブロック連絡会』や元気アップ主催の講座（生徒・保護者対象）の会場としても活用しています。

以上の図書室の整備と活性化は、学校長はじめ、教職員の皆さん、クラブの生徒達、文化委員会の生徒達、図書ボランティアの方々の協力なしでは、できませんでした。最後に、梅南中学校図書室の課題として、『放課後の図書室開放の充実』『図書部・文化委員会との連携』『図書バーコード化』『情報の多様化による本の選択の難しさ』等がありますが、地域コーディネーターとして、『居心地のいい図書室』めざして今後も支援していきたいと思います。本日は、ありがとうございました。

実践報告 「行きたい！読みたい！調べたい！読書大好き北鶴っ子」

平成27年7月13日

大阪市立北鶴橋小学校 佐野 麻衣

1. はじめに

2. 本校が抱えていた課題

3. 昨年度の取り組み

I. 魅力ある図書室づくり

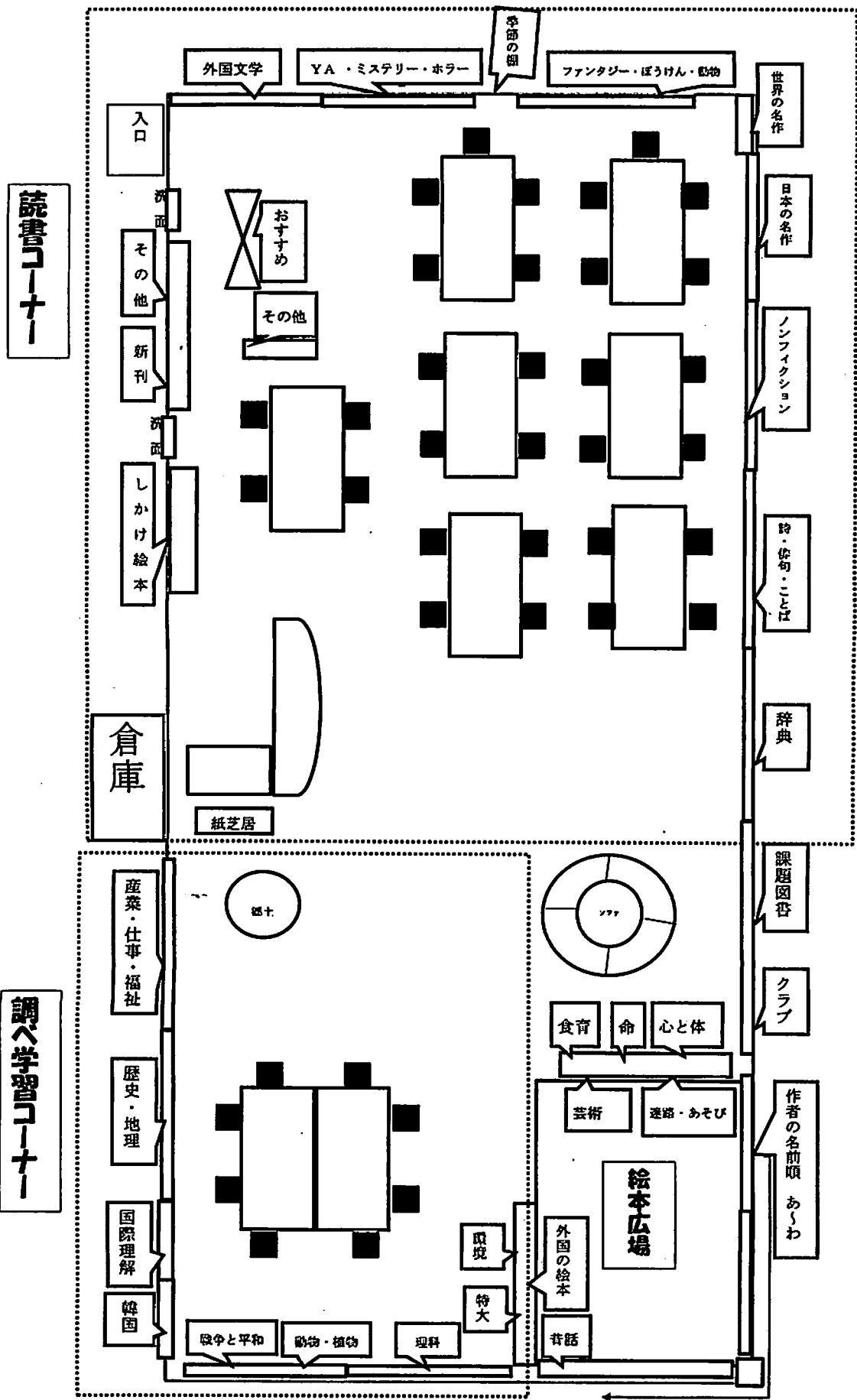
II. 図書室以外における読書環境づくり

III. さまざまな読書活動の推進

4. 取り組みの成果

5. 今後の課題

北鶴橋小学校 図書館地図



平成27年度大阪市子どもの読書活動推進連絡会出席予定者名簿

(平成27年7月13日)

お名前 (敬称略)	代表区分	所属・役職名等
久 隆 浩	学識経験者	近畿大学教授
村 岡 益 子	学識経験者	全国学校図書館協議会学校図書館スーパーバイザー
辻 奈 津 江	社会教育関係団体	大阪市 P T A 協議会研修委員長
平 尾 政 信	社会教育関係団体	大阪市 P T A 協議会広報情報推進委員長
吉 田 典 子	社会教育関係団体	大阪市生涯学習推進員協議会運営委員長
鳥 居 光 子	社会教育関係団体	大阪市生涯学習推進員協議会副運営委員長
重 本 由 見 子	社会教育関係団体	大阪市生涯学習推進員協議会副運営委員長
稲 瀬 美 幸	報告者	梅南中学校学校元気アップ地域コーディネーター
佐 野 麻 衣	報告者	北鶴橋小学校教諭
濱 坂 和 美	区の子どもの読書活動推進連絡会代表	北 豊崎東小学校学校図書館ボランティア「よむよむ」
鴻上 美代子	同上	都島 都島おはなしサークル シフカ・ブルカ
大田 みさ子	同上	福島 絵本の会福島
福 田 清 美	同上	此花 此花図書館絵本の会
釣 島 恭 子	同上	中央 絵本の会島之内
三 浦 京 美	同上	西 絵本の会西
堀 尾 公 代	同上	港 絵本の会みなと
近 藤 三 保 子	同上	大正 絵本の会 大正
野 田 祐 子	同上	天王寺 天王寺おはなし「ぼちぼち」
上 田 道 代	同上	浪速 なにわえほんの会
清 水 美 香	同上	西淀川 絵本の会西淀川「ぼけっと」
瀬 川 久 美 子	同上	淀川 絵本の会淀川
渡 邊 裕 美 子	同上	東淀川 おはなしボランティアとことこ
石 井 志 保	同上	東成 絵本の会東成
福 田 照 子	同上	生野 絵本の会生野
高 石 恵	同上	旭 絵本の会あさひ
寺 嶋 郁 子	同上	城東 城東絵本の会
橋 口 由 紀 子	同上	鶴見 絵本の会鶴見
町 野 正 彦	同上	阿倍野 絵本の会あべの あのねのね
土 野 由 子	同上	住之江 絵本の会住之江
田 村 彰 子	同上	住吉 すみよしおはなしパレット
浦 美 知 子	同上	東住吉 おはなしたまてばこ
望 月 敬 子	同上	平野 おはなしたからばこ
吉 澤 隆 子	同上	
西 浦 直 子	同上	西成 西成絵本の会

平成27年度大阪市子どもの読書活動推進連絡会事務局名簿

(平成27年7月13日)

教育委員会事務局中央図書館

所 属	氏 名
生涯学習部部長兼中央図書館館長	松本 勝己
中央図書館副館長	大久保 典子
中央図書館総務担当課長	鎌塚 隆男
中央図書館利用サービス担当課長	松下 玲子
中央図書館地域サービス担当課長	宮田 英二
中央図書館地域サービス担当課長代理	藤井 直美
中央図書館利用サービス担当課長代理	長谷部 絵理
中央図書館利用サービス担当課長代理	石田 智子
中央図書館 担当係長	荒木 麻里
” ”	波多野 圭子
” ”	正井 文博
” ”	窪田 聡美
” ”	澤谷 晃子
” ”	戸倉 信昭
” ” (兼)	森本 京子
” 主任指導主事 (兼)	八木 宣行
” 主任指導主事 (兼)	平田 和也
北図書館長	竹田 君代
都島図書館長	野村 薫
福島図書館長	川嶋 恵子
此花図書館長	山田 和伸
島之内図書館長	中田 夕子
港図書館長	成元 勝
大正図書館長	井上 有佐
天王寺図書館長	池上 也之保
浪速図書館長	森家 さち子
西淀川図書館長	赤堀 祐子
淀川図書館長	田野 晶子
東淀川図書館長	角田 人志
東成図書館長	濱田 仁美
生野図書館長	濱田 千賀子
旭図書館長	平田 満子
城東図書館長	井上 由美子
鶴見図書館長	庄野 清美
阿倍野図書館長	鎌田 恵子

所 属	氏 名
住之江図書館長	縣 和世
住吉図書館長	浅川 裕俊
東住吉図書館長	増本 満佐穂
平野図書館長	米川 くりえ
西成図書館長	松山 智子

教育委員会事務局指導部

所 属	氏 名
指導部 首席指導主事	仲村 顕臣
指導部 総括指導主事	富山 富士子

教育委員会事務局生涯学習部

所 属	氏 名
生涯学習担当課長	濱崎 正行
生涯学習部担当係長	鎌田 高彰

「大阪市子どもの読書活動推進連絡会」実施報告書 平成27（2015）年10月

大阪市教育委員会 〒530-8201 大阪市北区中之島1-3-20